

目 次

目 次	1
1. 2000年度の主な活動	3
*2000年度の入館者一覧	4
2. 資料の収集・利用	5
2-1 資料の収集	
(1) 受 贈	
(2) 購 入	
(3) 寄 託	
2-2 資料の利用	
(1) 貸 与	
(2) その他	6
3. 展示活動	7
3-1 常設展示	
(1) 歴史展示	
(2) 美術・工芸展示	8
(3) 別館展示	14
3-2 特別展示	15
(1) 自主企画展	
(2) 共催展等	17
*2000年度の特別展の開催状況一覧	18
(3) 特別陳列	19
(4) 京都府民ギャラリー事業への協力	20
3-3 映 画	
(1) 常設上映	
(2) 特別上映・共催事業	21
(3) 映像ギャラリー常設展示	22
(4) 京都府映像文化センター運営委員	
4. 調査研究活動	23
4-1 調 査	
(1) 埋蔵文化財の発掘と整理	
4-2 学芸員の活動	
(1) 博物館研究費による研究	
(2) 外部研究費・共同研究等による研究	
(3) 出講・委嘱	24
(4) 学芸員の業績	

5. 普及活動	… … …	27
5-1 出版物		
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』		
(2) 京都文化博物館年報		
(3) 展覧会図録		
5-2 講演会・音楽会	… … …	28
(1) 講演会など		
(2) 音楽会		
5-3 博物館実習	… … …	29
5-4 その他の活動		
(1) 資料閲覧室		
(2) 文化情報コーナー	… … …	30
(3) 生涯学習ボランティア		
(4) 京都文化博物館友の会		
6. 国際交流	… … …	31
6-1 陝西歴史博物館友好交流事業		
6-2 その他の交流事業		
7. ギャラリー事業	… … …	32
7-1 5・6階展示室		
(1) 京都文化財団展示室運営委員会		
(2) 美術・工芸作家の利用		
(3) 生涯学習的発表の利用	… … …	33
(4) 一般の利用	… … …	34
7-2 別館ホール		
8. 管理・運営	… … …	35
8-1 組織と職員		
(1) 組織		
(2) 京都文化財団役員		
(3) 京都文化博物館職員		
(4) 職員表彰等	… … …	36
8-2 施設		
(1) 本館関係		
(2) 別館関係		
8-3 ろうじ店舗	… … …	37
9. 2000年度のあゆみ	… … …	38

1. 2000年度の主な活動

この年の自主企画展は、春に学芸第一課の「季節を祝う一京の五節句」を開催し、秋に学芸第二課の「京の匠展—伝統建築の技と歴史—」を開催した。ともにいかにも京都らしい、あるいは京都ならではの展覧会となった。3月に発足した「教育・普及プロジェクト」では、本年度事業として当館のリーフレットの中国語版を作成するとともに、今、何ができるのか、何をしなければならないのかを考える1年とした。中国の陝西歴史博物館との友好交流事業では、11月17日に2名の同館職員が来日された。前年度のフィルム収蔵庫の新設に伴って改装した地階の図書資料室内に、可動書架を設置し、分散収蔵していた映像関係資料を収納した。

常設展示の入場者数はわずかに増えたものの、前年度に開館以来の最高を記録した特別展の入場者数は、半減して1998年度並みの21万人余りであった。

◇京都府映画関係資料整理等事業の受託（5月1日～2001年3月31日）

国の緊急地域雇用特別交付金を活用しての京都府緊急雇用特別基金事業の一環として、京都府から受託し実施したもので、未整理状態の映画関係資料の内容や点数の把握とそのリスト化及びデータベース化を行おうとするものである。本年度は、映画監督の伊藤大輔氏、時代劇関係資料収集家の岡田一人氏、大映京都撮影所で音響効果を担当した倉嶋暢氏、大正から昭和初期の時代劇の脚本家の壽々喜多呂久平氏からの寄贈資料及び京都府所蔵資料のうち、書籍・雑誌、ちらし・ポスター、スチール写真、音声テープ、スクラップなど合計18,538点の資料の整理と入力を行った。雇用した人員は、延べ2,154人であった。

◇雲林院跡の埋蔵文化財調査（5月15日～9月28日）

京都市北区に紫野雲林院町としてその名を残す雲林院は、もと紫野院と呼ばれた淳和天皇の離宮であり、名刹・大徳寺の東南のあたりに存在したと想定されている。当館では同町内の工場跡地にマンションが建設されるのに先立って、埋蔵文化財の発掘調査を実施した。その結果、平安時代の苑池跡と、その北側に掘立柱建物や井戸などを検出した。特に、この掘立柱建物はその一部が池に張り出して造られており、『類聚国史』に「御紫野院釣臺観遊魚」とか「鸕鷀幸紫野院御釣臺」とある「釣臺」に相当する可能性があり、平安時代前期の離宮の調査例として貴重な発見であった。

◇関西ミュージアムメッセ2000に参加（5月24日～27日）

1997年に続いて2度目となる「関西ミュージアムメッセ2000」が、大阪国際会議場で開催された。この催しは、その社会的役割において大きな転換期を迎えているわが国のミュージアムが、それぞれ独自にその変革に取り組むだけでなく、ミュージアムとそれを支えるさまざまな企業や産業などと地域が一体となり、これからのミュージアムの役割について考える場を提供するもので、当館も同じ京都文化財団の京都府立堂本印象美術館とともに参加・出展した。今回は、国立4館、公立15館、団体企業関係21館、グッズ・書籍関連企業15社、関連技術企業38社の出展があり、12,113人の入場者があった。

◇「京都日本画家協会新鋭選抜展」に“京都文化博物館賞”が新設される（6月22日～26日）

今後の日本画京都画壇を担う新進・中堅作家を京都日本画家協会の会員の中から選抜し、その最新の作

品を紹介する本展は、1995年の第1回以来、京都府と京都新聞社との共催によって当館の5階展示室で開催されてきた。第6回を迎えた本年から、京都ライオンズクラブの協力によって、買上賞として“京都文化博物館賞”が創設され、第1回目として“京都日本画家協会賞”受賞の劉銘義氏の「民家」が併せて受賞された。

◇別館音楽会、満10年を迎える（10月）

1990年10月6日、シリーズⅠの「京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ」第1夜「ローマン派の成熟」でスタートした当館別館ホールでの音楽会「歴史と共にく音楽>を楽しむ」は、岩淵龍太郎氏（京都市立芸術大学教授、のちに名誉教授、京都文化財団理事）のお話と若手演奏家による演奏が好評で、回を重ね、本年10月をもって満10年を迎えた。10月31日を第1夜とする「ヴィルトゥオーゾの誕生 その1ーヴァイオリン編」で、シリーズもXに達した。この年度の末までで、演奏回数63回、延べ演奏者数約200人、入場者総数7,600人余を数えた。

◇「京都府美術工芸新鋭選抜展」の開催（2001年1月4日～21日）

京都府と京都文化博物館では、21世紀を迎えるにあたって、1995年度から5年間にわたって実施してきた「京都美術工芸展」（選抜部門・公募部門）に代わって、“京都における21世紀の美術工芸の一層の活性化を図るため、本格的な作家をめざす将来性豊かな若手を発掘し、広く紹介する”場として新たに「京都府美術工芸新鋭選抜展」を開催することとした。本展は、「京都を主たる創作の拠点とする概ね35歳以下の新進作家で、将来有望と思われる者」をその選抜条件とし、推薦委員から推薦のあった候補者について選考委員会で出品者を選考し、さらに作品の審査を行って、最優秀賞1点、優秀賞3点を表彰するものである。サブタイトルを「2001新しい波」とした第1回目は47人の作家の87点の作品が出品され、最優秀賞には北尾博史氏の「森の部品一机上の森一」（彫刻）が選ばれた。

2000年度の入館者一覧

（単位：人）

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2000.4	3,664	1,230	4,894	4,786	7,934	12,720	8,450	9,164	17,614	5,332	2,779	—	8,111	25,725
5	5,230	1,334	6,564	7,341	10,014	17,355	12,571	11,348	23,919	4,228	2,440	470	7,138	31,057
6	4,172	1,088	5,260	5,571	3,115	8,686	9,743	4,203	13,946	4,518	3,925	420	8,863	22,809
7	3,666	1,336	5,002	7,780	6,943	14,723	11,446	8,279	19,725	2,710	1,185	100	3,995	23,720
8	4,025	1,366	5,391	31,171	7,203	38,374	35,196	8,569	43,765	2,095	1,357	300	3,752	47,517
9	3,746	1,717	5,463	30,941	12,019	42,960	34,687	13,736	48,423	5,167	3,980	1,030	10,177	58,600
10	3,835	1,471	5,306	7,668	7,914	15,582	11,503	9,385	20,888	8,112	5,637	1,141	14,890	35,778
11	4,799	1,307	6,106	11,268	5,926	17,194	16,067	7,233	23,300	2,668	9,720	1,100	13,488	36,788
12	3,229	1,543	4,772	7,518	5,658	13,176	10,747	7,201	17,948	592	10,514	1,310	12,416	30,364
2001.1	2,287	1,576	3,863	1,455	2,912	4,367	3,742	4,488	8,230	2,995	300	120	3,415	11,645
2	3,690	1,736	5,426	4,492	7,336	11,828	8,182	9,072	17,254	1,175	2,161	—	3,336	20,590
3	4,813	2,067	6,880	7,397	6,596	13,993	12,210	8,663	20,873	6,461	4,169	690	11,320	32,193
年度計	47,156	17,771	64,927	127,388	83,570	210,958	174,544	101,341	275,885	46,053	48,167	6,681	100,901	376,786
1日平均	136	51	187	544	357	902								

2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術・工芸、歴史・民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収

集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2000年度末での管理資料は42,516件、寄託資料が343件、一時保管資料が491件であった。

映画資料も京都府の所蔵で、同様に当館で管理している。

2-1 資料の収集

(1) 受 贈

種別	分野	作者	資料名	点数		小計
管理資料	日本画	劉 銘義	「民家」	1点		10件46点
	日本画	伝 鶴澤探鯨	「鶴澤探山像」ほか	14点		
	洋画	大熊 峻	「朝陽イスタンブール」	1点		
	彫刻	藤庭 賢一	「魔術師の変貌-133」	1点		
	陶芸	松風 栄一	「染鏡盒子 椿の里」ほか	2点		
	染織	寺石 正作	「千年椿Ⅱ」ほか	2点		
	人形		市松人形	1点		
	人形	村岡登志一	「五節句飾り花」	5点		
	民具		香合ほか	3点		
玩具		七夕の紙衣・型	16点			

(2) 購 入

種別	分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数	小計
管理資料	染織	造谷 和子	「つぼみA・つぼみB」	1点	人形	足利 典子	「梳る」	1点	2件2点

(3) 寄 託

種別	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	小計
館資料	■本画	1件 1点	古文書	2 1件 2 2点	典籍	21件2 33点	167件804点
	絵図	17件 19点	貴重遺物	99件517点	一般遺物	3件 7点	
	複製模本	1件 1点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	
管理資料	日本画	6件 17点	陶器	2件 98点	民俗	3件22 3点	13件34 3点
	武具	1件 4点	染織	1件 1点			

2-2 資料の利用

(1) 貸 与

①館資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的
歴史	第四回内国勲業博覧会模型	1点	京都府立総合資料館	「京都の20世紀をさきがけた人々」展
歴史	明倫小学校模型	1点	京都府企画環境部	「京都府この100年」展
考古	西寺跡出土白磁碗	1点	斎宮歴史博物館	「器は語る700年展」
考古	ウマ頭部ほか	6点	指宿市考古博物館 時遊館COCOはしむれ	「水迫遺跡からのメッセージ」展

考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化博物館	常設展示
				計 6件13点

②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的
日本画ほか	奥田貞子「春の気」ほか	28点	京都府文化芸術室	京都府庁内展示
日本画	山本知克「雪の日の東京駅」	1点	銅駝美術工芸高等学校	美工のあゆみ・創立120周年記念展
日本画	水田硯山「鴨川」ほか	118点	石川県七尾美術館	京の百景展
日本画	露木石門(露珍)「花鳥図屏風」	1点	たばこと塩の博物館	「異国の風」展
日本画	秋野不矩「ピシュヌブル寺院」	1点	天竜市立秋野不矩美術館	文化勲章受章記念「秋野不矩展」
日本画	西川祐信「源氏物語図(若菜上)」	1点	斎宮歴史博物館	花一世の中に絶えて桜のなかりせば一
日本画	三橋節子「野草」ほか	5点	砺波市美術館	三橋節子展
日本画	秋野不矩「初冬」	1点	京都新聞社	京都市立芸術大学創立120周年祝賀記念展
日本画	川端健生「郷」ほか	2点	奈良そごう美術館	没後5年「川端健生」展
日本画	三条西実隆像	1点	栗東歴史民俗博物館	開館10周年記念展「鈎の陣とその時代」
日本画	多村孝秀「七難図巻」	1点	京都造形芸術大学芸術館	七つの災難・七つの幸福 —「七難七福図巻」模本の世界
日本画	塩川文麟「常盤御前」	1点	毎日新聞社	歴史を彩った女性たち展
日本画	森寛斎「京都名所四季図」ほか	2点	四日市市立博物館	「みやびの情景・京の日本画—京都市立芸術大学の伝統と革新」展
日本画	小野竹喬「曇り日の海」ほか	2点	笠岡市立竹喬美術館	「竹喬 1945-1979 —《奥の細道句抄絵》への道」展
陶芸	九代蒔山与兵衛 「色絵唐人物図三足香炉」ほか	5点	岐阜県博物館	「海を越えた明治」展
陶芸	五代清水六兵衛 「精華山水文花瓶」ほか	34点	日本経済新聞社	五代・六代 清水六兵衛展
陶芸	熊倉順吉「作品」	1点	滋賀県立陶芸の森陶芸館	「時代精神の表現者熊倉順吉—ジャズの響きをやきものにした作家」展
陶芸	幹山伝七「染付草花模様小水差」ほか	3点	京都府企画環境部	「京都府この100年」展
陶芸	幹山伝七「松絵金彩水差し」ほか	9点	京都国立近代美術館	万国博覧会と近代陶芸の黎明展
染織	白麻地肩笹葉裾梅模様帷子ほか	4点	徳島県立博物館	「藍のよそおい」展
染織	遠近本足田紋訪問着	1点	片山文雄	第50回記念京都染色美術展
風俗	貞丈雑記ほか	5点	仙台市博物館	大名の婚礼展
風俗	連齒下駄ほか	31点	日本はきもの博物館	「江戸のはきもの」展
歴史ほか	上京第28組戸長印ほか	60点	京都府企画環境部	「京都府この100年」展
歴史	七卿落図屏風	1点	京都国立博物館	特別陳列「坂本龍馬と幕末の争乱」
郷土玩具	十二生肖俑	1点	京都府商工部観光・商業課	舞鶴港環日本海見本市
				26件 320点

(2) その他

種別	撮影 原版使用	観覧	寄託資料一時持ち出し					計
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	
館資料	48件 84点	2件	考古	壺輪ほか	37点	古代学協会	研究	1件37点
管理資料	36件107点	13件132点	民俗	祇園祭大船鉦資料	24箱	大船鉦保存会	展示	2件28点
			民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	

3. 展示活動

3-1 常設展示

(1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開し、京都の未来を展望するエピローグで結ぶ。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育ま

れてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

展示は基本的には大きな変化は無いので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示・集中展示ならびに歴史情報の詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

◇展示替え

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間	
武者の世に	京に集う	茶器（協力：門脇氏）		随時	
京洛四季	京の商い	看板・暖簾・算盤箱・一斗樹・天秤（*）	5点	2000.4.20~2000.10.17	
		看板（2点）・売薬手提箱・五合樹・一升樹・糸秤（*）	6点	2000.10.19~2001.4.15	
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小水差・染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様スープ皿・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付草花模様ソース鉢（和氣亀亭作）／染付草花模様紅茶碗（三代清風与平作）（*）	7点	2000.4.20~2000.7.11	
		染付草花模様鉢・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様スープ皿（2点）・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付ブドウ酒呑（5点／和氣亀亭作）（*）	11点	2000.7.13~2000.10.17	
		染付草花模様蓋付平鉢（三代清風与平作）／染付四季花卉模様スープ皿（2点）・染付四季花卉模様肉皿（2点）（以上、三代清水六兵衛作）／染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）（*）	8点	2000.10.19~2001.1.16	
		染付草花模様蓋付肉皿（2点）・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付草花模様ソース鉢・染付ブドウ酒呑（5点）（以上、和氣亀亭作）／染付草花模様皿（四代高橋道八作）（*）	12点	2001.1.18~2001.4.15	
		和歌の家—冷泉家七夕色紙・藤原氏系図／角罍（**／*）	3点	2000.6.21~2000.9.19	
集中展示	宗家の地	琵琶の家—楽琵琶／源氏物語絵巻（複製）（*／**）	2点	2000.9.21~2000.12.19	
		蹴鞠の家—蹴鞠（3点）・関係写本（3件）・蹴鞠扇（*）	7点	2000.12.21~2001.3.20	
		琴の家—琴／源氏物語絵巻（複製）（*／**）	2点	2001.3.22~2001.6.17	
		能と狂言	狂言面—福の神・武悪・犬・猿（協力：茂山家）	4点	2000.6.21~2000.9.19
能と狂言	能と狂言	桐鳳凰文様鞆鼓・秋草文様色無葛扇・紅地紋尽くし文様鬘帯・朱地霞二桐文様腰帯（協力：金剛家）	4点	2000.9.21~2000.12.19	
		狂言面—白蔵主・延命冠者・鷹（協力：茂山家）	3点	2000.12.21~2001.3.20	
		小結烏帽子・納戸地橋文様鬘帯・胴笥地花梨斗文様鬘帯・紺地雨龍文様腰帯（協力：金剛家）	4点	2001.3.22~2001.6.17	
		匠の世界	瓦造り—瓦製作関係道具類・瓦成形台・軒瓦木型・軒丸瓦・軒平瓦・鬼瓦など（協力：寺本甚兵衛製瓦）	一式	2000.4.20~2000.7.11
匠の世界	匠の世界	指物道具（*）	一式	2000.7.13~2000.11.14	
		石工（協力：芳村石材店ほか）	一式	2000.11.16~2001.6.17	
		京のまつり	祇園祭長刀鉾模型（**）	1点	2000.6.21~2000.9.19
		久多花笠祭花笠（*）	1点	2000.9.21~2000.12.19	
		祇園祭月鉾模型（大）（**）	1点	2000.12.21~2001.3.20	
祇園祭月鉾模型（小）（*）	1点	2001.3.22~2001.6.17			

※（ ）内の*印の資料は京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）、**印の資料は当館蔵

(2) 美術・工芸展示

◇京都の美術・工芸展《京都の近世絵画—江戸時代後期の京都画壇—》

概要：京都府所蔵の近世絵画の中から、円山派・四糸派・浮世絵・文人画の作品を中心に
 展示
 期間：2000年4月20日～5月16日
 作品：日本画14点

部門	作品名	作者	制作年	部門	作品名	作者	制作年
日本画	太夫雪見図	山口 素絢	1820	日本画	太夫道中図屏風	祇園 井特	1818
日本画	六玉川図	奥 文鳴		日本画	扇美人図	三島 上龍	
日本画	算面滝図	円山 応震		日本画	美人大首絵	藪田 文輝	
日本画	平等院図	長谷川玉峰		日本画	桜之画賛（外山光実賛）	広瀬 花隠	
日本画	溪流に鮎図	国分 文友		日本画	秋蟹図	紀 棹亭	
日本画	鷺に白鷺図（小川萍流賛）	大原 呑舟		日本画	鍾馗図	横井 金谷	
日本画	伝吉野太夫図	益利		日本画	京洛三十六家画帖	諸家	

※ 作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

◇京都の美術・工芸展《京都府主催 美術・工芸公募展のあゆみⅤ —1986～2000—》

概要：京都府が主催した公募展の中から京都府が購入した作品を展示
 期間：2000年5月18日～7月23日
 作品：日本画11点、洋画7点、版画4点、彫刻6点、染織10点、陶芸10点、金工1点、漆芸4点、木竹2点

部門	作品名	作者	制作年	部門	作品名	作者	制作年
日本画	地	城野奈英子	1988	彫刻	飄-水声 *	信ヶ原良和	1995
日本画	庭園の中	来野あざさ	1989	彫刻	trap#2	吉野 央子	1997
日本画	アーチのある街	小池 一範	1989	染織	ただよい	羽田 登	1987
日本画	月へ	近藤 昭代	1990	染織	染屏風 樹炎	山本唯与志	1987
日本画	彷徨（始発前）	藤岡 雅人	1992	染織	彩花	阿部 縁	1989
日本画	早春	猪熊 佳子	1993	染織	Close to Cloth '92-color circle	大手 裕子	1992
日本画	蜚の舞	松本 祐子	1995	染織	陰陽師	藤野 靖子	1993
日本画	古墳のある風景Ⅰ	西久松吉雄	1996	染織	Work '93-Ⅱ	藤本 哲夫	1993
日本画	響	榊原 六郎	1997	染織	緋の時	吉水 綱代	1995
日本画	傍らに *	斉藤 和	1998	染織	天上の鏡	内藤 英治	1996
日本画	朱い布がいる家 *	田島 周吾	1999	染織	颯（はるか）-97-Ⅱ	小林 祥晃	1997
洋画	果実あつめ	中川 佳宣	1989	染織	紅いはな—源氏物語・空蝉— *	兼先 恵子	1999
洋画	天使Ⅰ	山部 泰司	1989	陶芸	條皎	小林 英夫	1987
洋画	描かれた鉄パイプと鉄板による美術作品	岡田 武	1991	陶芸	象嵌壺	奥村 博美	1989
洋画	ラインシリーズより 空間—広がりを持つ線	原田 一	1992	陶芸	SPACE RECEPTOR-92 *	清水 柁博	1992
洋画	Untitled	児玉 靖枝	1993	陶芸	ハジメテノイノリ	上田 順康	1993
洋画	森羅萬象 一絆一	山中 章寛	1996	陶芸	夜の生産	西川 勝	1995
洋画	LAND-YELLOW	鈴木 春生	1997	陶芸	器台付 器	吉川 充	1995
版画	Spring into View 89-1	岸中 延年	1988	陶芸	隔たるもの	井上 博和	1996
版画	Eyes from the under-ground 89-6	飯塚 二郎	1989	陶芸	包芽Ⅱ	藤野さち子	1993
版画	Coreoptera 90-N	浦田 和義	1990	陶芸	流業器	加藤 和宏	1996
版画	Still Life on the Table #7	小枝 繁昭	1991	陶芸	灰白陶 器	高坂嘉津幸	1998
彫刻	POSITION 89-1	内田 晴之	1989	金工	器	堀 紀幸	1997
彫刻	サボテン	田中 太郎	1990	漆芸	耀貝飾箱潮文	服部 峻昇	1987
彫刻	I.S.M.-FIRE *	石原 友明	1991	漆芸	尖祭	粟本 夏樹	1993
彫刻	三間四柱 *	柴田 純生	1992	漆芸	乾漆 Bright Ocean	山田 豊子	1996
				漆芸	漆屏風「游 2000」	下出祐太郎	1999
				木竹	樺拭漆座卓	宮本 貞治	1987
				木竹	拭漆檜文机	山形 満	1989

※ *印は京都府所蔵、その他の作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

◇京都の美術・工芸展《第18回京都府文化賞受賞者展》

概要：平成11年度の第18回京都府文化賞受賞者
の中から、5名の造形作家の作品を展示

作品：日本画11点、洋画12点、書7点、陶芸7
点、染織10点

期間：2000年9月23日～11月14日

特別功労賞—志村ふくみ

部門：染織

作品名	制作年	所蔵者	作品名	制作年	所蔵者
秋霞	1959	京都国立近代美術館	月輪 *	1983	京都府立総合資料館 (京都府京都文化博物館管理)
七夕	1960	京都国立近代美術館			
晩秋	1961	京都国立近代美術館	塔(雪・月・華三部作)	1997	滋賀県立近代美術館
律	1961	京都国立近代美術館	玄	1997	滋賀県立近代美術館
冬樹	1961	京都国立近代美術館	波羅	1997	滋賀県立近代美術館
嵯峨野	1963	京都国立近代美術館			

功労賞—石川九楊

部門：書

作品名	制作年	所蔵者	作品名	制作年	所蔵者
二十にして心すでに朽ちたり (季賀「贈陳商」)	1992	石川 九楊	立棺Ⅱ-3	1996	石川 九楊
			立棺Ⅱ-4	1996	石川 九楊
徒然草No.16	1991	石川 九楊	カラマーゾフの兄弟Ⅰ	1999	石川 九楊
徒然草No.22	1994	石川 九楊	カラマーゾフの兄弟Ⅱ	1999	石川 九楊

功労賞—入江西一郎

部門：日本画

作品名	制作年	所蔵者	作品名	制作年	所蔵者
娘たち	1990	文化庁	ドリアンの実る頃	1998	入江西一郎
オヒアの花	1992	入江西一郎	朝暾	1998	個人
マンゴの木	1995	入江西一郎	月の夜	1998	個人
家族	1995	入江西一郎	花咲く頃	1998	入江西一郎
大地	1996	入江西一郎	花咲く頃	2000	入江西一郎
群	1997	個人			

功労賞—井田照一

部門：洋画

作品名	制作年	所蔵者	作品名	制作年	所蔵者
Surface is the Between-Descended Level- Between Vertical and Horizon			Surface is the Between-Between Vertical and Horizon		
“Circle in Rock-Black No.2-F-No.116”	1982	井田照一	“Garden Project-Meaning of Stone No.52”	1988-98	井田照一
“Square in Rock-Brown No.2-F-No.100”	1981	井田照一	“Garden Project-Meaning of Stone No.61”	1988-98	井田照一
Surface is the Between-Between Vertical and Horizon Series Shelf-Still Life			Surface is the Between-Between Vertical and Horizon Series Shelf-Still Life		
“Descended Level-Ki-No.1~6”	1996	井田照一	“Distance of Encounter-Echo-Ki-360”	1999	井田照一
Surface is the Between Descended Level- Between Vertical and Horizon			Surface is the Between-Between Vertical and Horizon Series Shelf-Still Life		
“Paper Between a Stone and Pond”	1980	井田照一	“Potential of Life-Water, Earth and Fire”	1999	井田照一
“Paper Between a Twig and Brook”	1980	井田照一	Surface is the Between-Between Vertical and Horizon Series-Mitate		
Garden Project-Locus Sutra			“Tangency at Garden-Vertical and Horizon”		
“For Four Corners-Garden Project No.72”	1979-83	井田照一	Roof, Wall, Air, Water, Light	1998-2000	井田照一
“Level for Gravity-Between Stone and Stone”	1983-87	井田照一			

功労賞—柳原 睦夫

部門：陶芸

作品名	制作年	所蔵者	作品名	制作年	所蔵者
ギン・青オリベ 笑口壺	1998	柳原 睦夫	ギン・クロオリベ 笑口壺	1998	柳原 睦夫
ギン・青オリベ 笑口壺	1998	柳原 睦夫	ギン・クロオリベ 笑口壺	1998	柳原 睦夫
ギン・青オリベ 笑口壺	1998	柳原 睦夫	ギン・クロオリベ 笑口壺	1999	柳原 睦夫
ギン・クロオリベ 笑口壺	1998	柳原 睦夫			

◇京都の美術・工芸展《絵の中の工芸・工芸の中の絵》

概要：美術と工芸という分類をはずして、工芸を描いた絵画、絵を描いた工芸などの作品を展示

作品：日本画36点、洋画3点、染織14点、陶芸24点、漆芸7点、風俗7点、楽器13点、図書2点

期間：2000年11月16日～2001年2月20日

種別	作品名	作者	制作年	備考	期間
日本画	祇園春宵	磯田又一郎	1987		全期
日本画	新能	上村 松篁	1987		全期
日本画	鴨川の夕涼み	梶原緋佐子	1973		全期
日本画	京舞	勝田 哲	1972		全期
日本画	二面像	北沢 映月	1951		全期
日本画	更紗を	来野あぢさ	1981		全期
日本画	吸付煙管	下村良之介	1987		全期
日本画	古壺再び	濱田 観	1972		全期
日本画	舞妓	広田 多津	1987		全期
日本画	伏見人形	三谷 青子	1987		全期
日本画	京扇子	皆川千恵子	1987		全期
日本画	青衣	三輪 良平	1981		全期
洋画	こったいさん	猪田 七郎	1985	猪田浩史氏寄附	全期
洋画	ドン・キホーテ像のある静物	安田 謙	1982		全期
洋画	神将	和田 三造	1966	和田大作氏寄附	全期
染織	龍虎幻想	皆川 月華	1975	皆川泰藏氏寄附	全期
染織	れんこんとかりふらわー	三浦 景生	1995		全期
染織	かくれ切支丹	来野 月乙	1974		全期
染織	ヒワ旅情・中央アジア	皆川 泰藏	1990		全期
陶芸	音羽焼山水画陶板	五代清水六兵衛	1925	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	音羽焼美人図陶額	五代清水六兵衛	1926	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	青華楼閨花瓶	五代清水六兵衛	1913	清水菊子氏寄附	全期
陶芸	色絵金彩母子図コーヒー碗(皿付)	錦光山宗兵衛	明治時代中期	安芸俊男氏寄附	全期
陶芸	山噴煙染付花瓶	近藤 悠三	1964		全期
陶芸	茶碗 家	楠部 彌弌	1971	大澤素子氏寄附	全期
陶芸	茶碗 島	楠部 彌弌	1983	大澤素子氏寄附	全期
陶芸	茶碗 若草	楠部 彌弌	1950	大澤素子氏寄附	全期
陶芸	染付陶額訓路温泉	松風 栄一	1988	松風緑子氏寄附	全期
陶芸	色絵金彩唐人図三足香炉	九代常山与兵衛	1897頃		全期
陶芸	塩釉鸞鷲陶額	森野 嘉光	1942	森野秋氏寄附	全期
陶芸	しだれ桜	村井 紀炎	1991		全期
日本画	歌妓図	合川 珉和	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	太夫雪見図	山口 素絢	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	二美人図	祇園 井特	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	鼓持美人図	祇園 井特	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	島原太夫図	祇園 井特	1815	吉川観方コレクション	前期
日本画	手あぶり美人図	祇園 井特	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	歌妓図	祇園 井特	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	美人肖像	祇園 井特	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	美人図	祇園 井特	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	妓女図	幸野 模嶺	1873	吉川観方コレクション	前期
日本画	島原太夫図	三島 上龍	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	観桜美人図	三島 上龍	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	灯籠美人図	三島 上龍	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	扇美人図	三島 上龍	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	舞子納涼図	吉原 真龍	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	太夫図	吉原 真龍	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
染織	通天橋山水模様振袖		明治初期	吉川観方コレクション	前期
染織	竹に雀模様小紋小袖		明治初期	吉川観方コレクション	後期
染織	雪持竹に雀模様小袖		江戸末期	吉川観方コレクション	後期
染織	四季花束模様振袖		江戸末期	吉川観方コレクション	前期
風俗	籠甲櫛・笄・簪		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期

風俗	玉簪		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
風俗	平打簪		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
風俗	蒔絵櫛・笄・いち止・簪		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
風俗	珊瑚飾り蒔絵櫛・笄		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
風俗	銀珊瑚花簪		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
風俗	つまみ細工簪		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
日本画	羅陵王図	聚斎	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	遷城楽図	原 在明	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
日本画	月下合奏図	浮田 一憲	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
日本画	公家合奏図	沢 宣嘉	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
楽器	神楽笛		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	籠笛		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	ひちりき		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	和琴		明治時代	佐竹コレクション	前期
楽器	楽箏		明治時代	佐竹コレクション	後期
楽器	楽琵琶		江戸後期	佐竹コレクション	後期
楽器	楽太鼓		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	鞆鼓		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	三ノ鼓		江戸後期	佐竹コレクション	全期
楽器	振鼓		江戸後期	佐竹コレクション	全期
楽器	鶏婁鼓		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	楽鉦鼓		明治時代	佐竹コレクション	全期
楽器	拍子木		明治時代	佐竹コレクション	全期
日本画	団扇 傘の図	今尾 景年	明治～大正初期	今尾家寄附	全期
日本画	扇 菊水の図・蝶	今尾 景年	大正時代	今尾家寄附	全期
日本画	扇 桜楓の図・月	今尾 景年	明治～大正初期	今尾家寄附	全期
陶芸	竹吹雪水指 (今尾景年画)	楽 惶入	明治後期	今尾家寄附	全期
陶芸	蘭鑄香合	今尾 景年	明治～大正初期	今尾家寄附	全期
陶芸	四季の花蓋置 (今尾景年画)	永楽 妙全	明治～大正初期	今尾家寄附	全期
陶芸	松竹梅蓋置 (今尾景年画)	永楽 妙全	大正時代	今尾家寄附	全期
陶芸	楊鷲茶入 (今尾景年画)	黒田 正玄	明治～大正初期	今尾家寄附	全期
陶芸	富士茶碗 (今尾景年画)	高橋 道八	明治～大正初期	今尾家寄附	全期
陶芸	群雀香合 (今尾景年画)	三浦 竹泉	大正時代	今尾家寄附	全期
陶芸	八弁葉絵変わり皿 (今尾景年画)	三浦 竹泉	大正時代	今尾家寄附	全期
染織	寿老人図袱紗	田能村直入	明治後期	田能村家寄附	全期
染織	群仙図袱紗	田能村小篁	明治後期	田能村家寄附	全期
染織	山水図袱紗	田能村直外	1928	田能村家寄附	全期
染織	鹿図袱紗	岸 連山	江戸末期	脇和代氏寄附	全期
染織	刑場図羽織		明治初期	吉川観方コレクション	前期
染織	水辺鴛鴦桜模様振袖		江戸末期	吉川観方コレクション	後期
陶芸	白磁木瓜形水注	青木 木米	江戸後期		全期
陶芸	大津絵賈德利	太田垣運月	江戸末期～明治初期		全期
陶芸	亀絵耳付水指	太田垣運月	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期
陶芸	楼閣山水絵四方皿	尾形 乾山	江戸中期		全期
漆芸	朱漆亀蒔絵盃 (原在正図)		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
漆芸	朱漆松蒔絵盃 (原在正図)		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
漆芸	朱漆柿枝蒔絵盃 (松村景文図)		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
漆芸	朱漆盃 (望月玉泉図)		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
漆芸	朱漆盃 (森寛斎図)		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
漆芸	金蒔絵亀図盃 (吉田元陳図)		江戸後期～明治前期	吉川観方コレクション	全期
漆芸	桑製蒔絵南鏡金具付飾棚 (神坂雪佳図案)	(株) 宮崎	1955頃		全期
図書	神坂雪佳図案集	*	大正～昭和初期	二代宮永東山氏寄附	前期
日本画	鼓図	神坂 雪佳	大正～昭和初期	吉川観方コレクション	前期
図書	百々世草	神坂 雪佳	1909	坂田彩湖氏寄附	後期

※ 展示期間 前期：11月16日～12月26日、後期：12月27日～2月20日

*印は京都文化博物館蔵、その他はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

◇京都の美術・工芸展《春のきざし》

概要：京都府所蔵の美術・工芸のさまざまな分野から、春を感じさせる作品を選んで展示

期間：2001年2月22日～4月15日
作品：日本画12点、洋画6点、染織22点、陶芸17点、漆芸2点、人形22点

種別	作品名	作者	制作年	備考	期間
日本画	種をまく	山口八九子	昭和初期	山口由季子氏寄附	全期
日本画	堤	池田 逢邨	1969		全期
日本画	平安神宮	秋野 不矩	1973		全期
日本画	團山公園 (しだれ桜)	大野藤三郎	1973		全期
日本画	醍醐の桜	木下 章	1973		全期
日本画	大澤池	堂本 元次	1973		全期
日本画	御室	濱田 観	1973		全期
日本画	花の寺	藤田 孝正	1973		全期
日本画	春浅く	三谷十糸子	1983	三谷青子氏寄附	全期
日本画	はたち	三輪 良平	1985	三輪良平氏寄附	全期
日本画	早春	猪熊 佳子	1993		全期
日本画	春へ	北野 治男	1994		全期
洋画	赤山	斎藤 真成	1991		全期
洋画	ターバンの女	霜鳥 之彦	1923	霜鳥正氏寄附	全期
洋画	よろこびの声をあげよ	津田 周平	1976	津田トシ氏寄附	全期
洋画	花のある風景	南大路 一	1963		全期
洋画	光の中の像	福井 勇	1973	福井恵美氏寄附	全期
洋画	ハヶ岳快晴	向井 潤吉	1969		全期
染織	練貴地松皮取に草花模様辻が花染裂		桃山時代	小野常正氏寄附	前期
染織	練貴地立涌に草花模様縹箔裂		桃山時代	小野常正氏寄附	後期
染織	紗綾地桜花幔幕模様絞縹裂		江戸前期	吉川観方コレクション	前期
染織	紗綾地小花段模様縹箔裂		江戸前期	吉川観方コレクション	後期
染織	紫縮緬地桜花幔幕模様友禅染小袖		江戸前期		前期
染織	浅葱縮緬地鶴鷺雪持模様友禅染小袖		江戸後期		前期
染織	藍縮地松桜笹春草雲滝模様友禅染単衣		江戸後期		後期
染織	薄紅縮緬地梅鶯模様友禅染縹振袖		明治前期		前期
染織	薄紅縮緬地春草花模様友禅染小袖		明治前期		後期
染織	鼠平縮地枝垂梅模様友禅染小袖 (小裁)		明治前期	吉川観方コレクション	前期
染織	藍縮地子供牛模様友禅染小袖 (小裁)		明治前期	吉川観方コレクション	前期
染織	薄茶地枝垂桜模様友禅染小袖 (小裁)		明治前期	吉川観方コレクション	前期
染織	染分縮緬地桜流水模様友禅染小袖 (小裁)		明治前期	吉川観方コレクション	後期
染織	浅葱縮緬地春野遊馬模様友禅染小袖 (小裁)		明治前期	吉川観方コレクション	後期
染織	鼠平縮地掛盆裁模様友禅染小袖 (小裁)		明治前期	吉川観方コレクション	後期
染織	紅縮緬地桜春草孔雀模様友禅染打掛		大正時代	高木陽子氏寄附	後期
染織	花	増田 惇子	1968		全期
染織	山ぐにの春	稲垣稔次郎	1954		全期
染織	花の布	中堂 憲一	1972		全期
染織	萌	佐野 猛夫	1972		全期
染織	早春	森口 華弘	1973		全期
染織	かりふらわーとうと	三浦 景生	1983		全期
陶芸	光琳雛置物	五代清水六兵衛	1923	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	色絵棕鳥香合	五代清水六兵衛	1925	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	色絵翡翠香合	五代清水六兵衛	1925	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	雀香合	五代清水六兵衛	1927	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	雛鳥香合	五代清水六兵衛	1927	清水久仁子氏寄附	全期
陶芸	花模様磁花瓶 (大) スイートピー	中島 清	1947	末満英子氏寄附	全期
陶芸	白いつぼみ	長谷川重一	1969		全期
陶芸	白朧	川上 徹	1970		全期
陶芸	鏝泐早蕨飾皿	六代清水六兵衛	1970	清六陶苑寄附	全期
陶芸	創生	西村 徳一	1972		全期
陶芸	春告 白青磁春告盤	深見 陶治	1974		全期
陶芸	そよかぜ	叶 道夫	1978		全期
陶芸	白泐金彩菜の花花瓶	六代清水六兵衛	1978	清六陶苑寄附	全期

陶 芸	彩泥管	宮下 善爾	1979		全期
陶 芸	呉須絵柳之図長角皿	徳力牧之助	1980		全期
陶 芸	釉彩椿水仙文皿	徳力孫三郎	1980		全期
陶 芸	染錦盒子 椿の里	松風 栄一	1982	松風緑子氏寄附	全期
漆 芸	海渡る蝶 (螺鈿銀彩蒔絵)	伊藤 裕司	1978		全期
漆 芸	花の筥	伊藤 邦	1981		全期
人 形	御所人形「宝袋持ち童子」		江戸時代後期		全期
人 形	御所人形「鯛釣り童子」		江戸時代末期		全期
人 形	御所人形「馬曳き童子」		江戸時代末期		全期
人 形	御所人形「腹掛け」		江戸時代末期	小松きよ氏寄附	全期
人 形	陶人形「草刈り童子」		江戸時代末期		全期
人 形	御所人形「這い這い」		幕末～明治	小松きよ氏寄附	全期
人 形	御所人形「袖無し」		明治時代	小松きよ氏寄附	全期
人 形	御所人形「俵かかえ」		明治時代	小松きよ氏寄附	全期
人 形	御所人形「筥かかえ」		明治時代	小松きよ氏寄附	全期
人 形	木彫御所人形「立稚児」	面屋庄次郎	昭和初期	面屋庄三氏寄附	全期
人 形	木彫御所人形「這子」	面屋庄次郎	昭和初期	面屋庄三氏寄附	全期
人 形	御所人形「末広がり」	岡本正太郎	1955—64	岡本喜世氏寄附	全期
人 形	御所人形「笛」	岡本正太郎	1955—64	岡本喜世氏寄附	全期
人 形	青衣人形	大林 蘇乃	1963	三門靖子氏寄附	全期
人 形	御所人形「無」	岡本正太郎	1965—74	岡本喜世氏寄附	全期
人 形	土の鈴	西村 喜代	1971		全期
人 形	学校がえり	羽山 敬子	1971		全期
人 形	関取	黒川 和江	1974		全期
人 形	菜摘み	平中 歳子	1974		全期
人 形	双	種田 蝶子	1975		全期
人 形	御所人形「御局さま参内」	面屋 庄三	1977		全期
人 形	御所人形「晴れ姿」	面屋 庄三	1987		全期

※ 展示期間 前期：2月22日～3月20日、後期：3月22日～4月15日
 出品作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

▽併設 《池大雅の人物表現》

期 間：2000年3月22日～4月15日

品から、日本画や書など13点を展示

作 品：池大雅美術館から京都府に寄贈された作

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年	備考
日本画	桑びす図	池 大雅	江戸時代	日本画	慶子老舞踊図	池 大雅	江戸時代	
日本画	寒山拾得図	池 大雅	江戸時代	日本画	壬生鴈胎僧群詣図	池 大雅	江戸時代	
日本画	懸崖採薬図	池 大雅	江戸時代	日本画	観世音図	池 大雅	江戸時代	
日本画	張果老図	池 大雅	江戸時代	書	般若心経	池 大雅	江戸時代	参考出品
日本画	壽老人図	池 大雅	江戸時代	彫 刻	如意輪観世音像			参考出品
日本画	王羲之書扇図	池 大雅	江戸時代	日本画	蕙石図	池 大雅	江戸時代	参考出品
日本画	柳下童子図屏風	池 大雅	江戸時代					

※ 作品はすべて京都府蔵池大雅美術館コレクション
 （京都府京都文化博物館管理）



2000年6月 別館展示<明治の友禅染>
 (別館東室)

(3) 別館展示

①東 室

◇第40回 2000年6月22日～9月19日 計45点 (前期: 6/22～7/11、後期: 7/13～9/19)

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期間
炊事用具	鍋/釜/蒸し器/田炉裏釜/敷き輪/竈籠/鍋掴み	全期
船の郷土玩具	伏見人形 淀川蒸気船(京都市)/村松の宝船(茨城県東海村)/江ノ島の屋形船・貝船(神奈川県)/岡崎の提灯船(愛知県)/大阪の宝船・天神祭り船(大阪市)/勝浦の鯨船・湯崎の漁船(和歌山県)/尾道の田面船(広島県)/室戸の鯨船(高知県)/長崎のペーロン船・唐人船(長崎市)/那覇のハーリー船(沖縄県)ほか	全期
明治の友禅染	薄紅縮緬地滝に桐鷲模様友禅染振袖/茶羽二重地桜楓几帳模様友禅染長着/浅葱羽二重地水辺鴛鴦模様友禅染振袖/紫縮緬地雲取源氏物語模様友禅染長着	前期
明治の京焼	色絵正倉院文花瓶(明治前期/三代清水六兵衛)/粟田焼色絵旭日群鶴図花瓶・粟田焼錆絵染付雀図一輪差花瓶(以上、明治前期/八代常山與兵衛)/染付草花模様ソース鉢(明治12年/和気亀亭)/松絵金彩水差(明治12年/幹山伝七)/染付四季花卉模様スープ皿(明治12年/三代清水六兵衛)/染付草花模様皿(明治12年/四代高橋道八)/染付紅茶茶碗(明治12年/清風与平)/鮮紅磁釉紋瓢式花瓶(明治25年頃/初代三浦竹泉)/色絵母子図三足香炉(明治中期/七代錦光山宗兵衛)/色絵金彩母子図コーヒール碗(明治中期/七代錦光山宗兵衛)/青華磁牡丹唐花鳥文花瓶(明治30年/三代清風与平)	後期

◇第41回 2000年9月21日～12月19日 計56点

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期間
調理・調製用具	柄へし/木鉢/芋洗い籠/まな板/胡麻煎り/大根おろし/パン焼器/アイスクリーム器/しばき	全期
収納具	文箱/短冊箱/唐櫃/柳筐/手箱	全期
伏見人形	天神/千両箱持ち大黒/坐り福助/お福ちよろ/徳須ちよろ/船遊び/坐り童児/俵担ぎ/子守/鯛抱き童児/でんでん太鼓持ち童児/おぼこ ほか	全期
米搗き車と餅つき人形	名古屋の米搗き車/大阪の米搗き車/和歌山の米搗き車/徳島の藍搗きお蔵/高知の米搗き車/熊本の米搗き車/名古屋の臼搗き人形/金沢の餅つき兔/大阪の餅つき兔	全期

◇第42回 2001年3月22日～6月17日 計64点 (前期: 3/22～5/6、後期: 5/8～6/17)

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期間
弁当箱・重箱	面桶/弁当袋/弁当箱(アルミ製)/弁当箱(板製)/弁当箱(琺瑯製)/弁当行李/信玄弁当/丸型弁当箱/弁当籠/提げ重/雛模様重箱/花籠蒔絵螺鈿提重	全期
韓国の玩具と人形一 脱コレクションより	閻氏/独楽/柳笛/木雁/腰吊/新郎馬乗り/二人轎/四人轎/洗濯棒/木沓/兀然童/木虎/張子海駄/張子白馬/將軍標/堂函/独楽/山内劇仮面 ほか	全期
画僧・月儀	白蓮図/雪中訪隱図/蘭亭曲水図/寒山拾得図/寒山拾得図/唐人物図	前期
賛のある絵	梅林山水図(大原吞鸞)/折枝牡丹図(世継希僊)/山桜に鷹と白鷺図(大原吞舟)/桜之画賛(広瀬花隠)/宋太祖蹴鞠図(国分文友)/靈芝図(旭心)/勝山琢道像(勝山琢如)/中井延清像(田中訥言)	後期

※ 第40回～第42回の展示資料はすべて京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

②西 室

a. 世界の石器

- ・猿人の石器—5点
- ・原人の石器—5点
- ・旧人の石器—8点
- ・北ヨーロッパ新石器時代の石器—17点
- ・大分県宮地前遺跡出土の石器—24点

b. 青森県石亀遺跡の縄文土器

- ・土器—24点
- ・石製品—7点

c. 平安京跡出土瓦—93点

*詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』(1999年)を参照されたい。

3-2 特別展示

(1) 自主企画展

◇文化財保護法50年記念

季節を祝う 京の五節句

— 新春・雛祭・端午・七夕・重陽 —

会 期：2000年4月21日～5月21日（29日間）

休 室：5月8日・17日

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月20日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社

後 援：文化庁・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局

担当者：古郷彰治・石沢誠司・洲鎌佐智子・藤本恵子

概 要：節句というと現在では3月の桃の節句、5月の端午の節句の二つになじみが深いですが、これに新春、七夕、そして9月9日の重陽を加えて五節句と呼ぶ。これらは江戸時代に幕府によって定められた一年のうちの5度の祝日で、それぞれの季節の変わり目に折々の草花や風物を取り入れながら、邪気を祓い無病息災や子供の健やかな成長を祈った。

宮中においては7世紀頃から一年のうちそれぞれの季節の節目となる日を節日とし、さまざまな祝いの宴（節会）が盛大に行われてきた。平安建都以来、王城の地であった京都の社寺や町衆にとって節会はすでになじみが深く、またあこがれの対象でもあったため、王朝の公家文化に武家文化を融合させるべく宮中の節目を基に定められた五節句の諸行事は、たちまち広く一般に行われるようになり、季節の変わり目を祝う日として定着した。明治になって政府により五節句は廃止されるが、江戸時代を通じて暮らしの中になじんできた行事は急に衰えることなく、形を変えながら今日まで続いているものもある。本展覧会では年中行事や風俗を描いた絵巻や屏風、掛け軸をはじめ、各節句の景物を文様にした衣裳や調度、雛

人形、五月人形などの工芸品と、節句行事について著した当時の文献などをまじえ、139点の資料によって、江戸時代を中心に京都の五節句の様子を紹介した。

展示構成：第一部 年中行事と五節句
第二部 新春＝元旦と七種
第三部 桃の節句＝上巳
第四部 菖蒲の節句＝端午
第五部 乞巧奠＝七夕
第六部 菊の節句＝重陽
第七部 工芸にみる五節句

作 品：十二月風俗図帖、賀茂競馬・宇治茶摘図屏風（以上、重要文化財）、五節句図、年中行事図巻（以上、重要美術品）、十二月図屏風、左義長図羽子板、林家の雛飾り、賀茂競馬図屏風、七夕の紙衣、乞巧奠祭壇、重陽官女図、菊尽し文様振り袖など139点

入場者：22,200人（1日平均766人）

講演会：映像ホール

・5月13日「京都の五節句」

石沢誠司（当館学芸第一課長）

列品解説：4階会場

・4月29日 古郷彰治（前当館主任学芸員・京都府中小企業総合センター産業デザイン係長）

・5月6日 洲鎌佐智子（当館学芸員）

記念イベント：別館ホール

・5月14日〈七夕さん（紙衣）をつくろう〉

指導：白丸節子（手芸家）、協力：楽紙館



2000年5月14日「京の五節句」展記念イベント
〈七夕さん（紙衣）をつくろう〉講習風景（別館ホール）

◇文化財保護法50年記念

京の匠展—伝統建築の技と歴史—

会 期：2000年9月30日～11月5日（36日間）
休 室：10月18日
会 場：4階特別展示室
入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円
特別鑑賞日：9月29日
主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社
共 催：文友会
特別協力：京都府教育委員会
後 援：文化庁・京都市・京都市教育委員会・京都商工会議所・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局
担当者：山下秀樹・植山 茂
概 要：京都には国宝や重要文化財に指定された建造物が300余件、美術工芸品は1,800余件もある。そうした文化財は我々の歩んできた歴史の重要な証であり、現在からさらに未来へと引き継ぐために、不断の努力が必要である。しかしながらこうした活動は陰に隠れがちで、文化や文化財というと高尚な趣味のようにも見られ、ともすれば近づきにくい印象を持たれかねない。そこで本展では、建造物とそこに関わるしつらいを中心に取り上げ、その技術的な歴史と、現在の職人による維持保存の技を紹介した。あわせて可能な限り触れる展示を展開した。展示物に直接触れ身近に体感することで、伝統建築そのものから文化財や修復技術への理解



2000年9月 「京の匠展」展示設営風景
（4階展示室）

がいつそう深まることを願ったからである。

展示構成：Ⅰ 匠の歴史
Ⅱ 建築・造園の伝統技術
Ⅲ しつらいの伝統技術
Ⅳ 文化財を護る

作 品：向日神社本殿棟札、愛宕神社本殿組物古材（以上、重文）、倭名類聚鈔、春日権現験記絵、松崎天神縁起、三十二番職人歌合、東寺五重小塔、近衛殿表方指図、匠明、清水寺三重塔組物実大模型、醍醐寺五重塔組物実大模型、番匠式具、平安宮民部省跡出土土覆石、壇上積基壇模型、柿・檜皮・瓦葺き屋根模型、御所御庭屏風、装漢帖、隠し文字唐草模様吊燈籠、神輿銚金具、宮殿、防災模型、放水銃、避雷針など154件

入場者：25,551人（1日平均710人）

イベント：

- ・9月30日 「新始め鑑賞」（別館ホール）
- ・10月1日／10月8日 「檜皮葺き実演」
文友会（4階会場）
- ・10月7日／10月14日 「瓦葺き実演」
文友会（4階会場）
- ・10月15日 「檜皮屋根棟瓦付け実演」
文友会（4階会場）
- ・10月22日 「西本願寺屋根修復工事見学会」
（西本願寺）

列品解説：4階会場

- ・10月21日 植山 茂（当館主任学芸員）
- ・10月28日 山下秀樹（当館主任学芸員）



2000年10月 「京の匠展」関連イベント
＜瓦葺き実演＞風景（4階展示室）

(2) 共催展等

◇近代日本画に見る 美人画名作展

—福富太郎コレクション—

会 期：2000年6月16日～7月17日（30日間）

休 室：6月21日、7月12日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：6月15日

主 催：京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

担当者：大西基子・野口 剛

概 要：美人画のコレクターとして著名な福富太郎氏のコレクションに基づく展覧会で、関東を代表する美人画家の簗木清方の作品を中心とした内容となった。特に、簗木清方の「刺青の女」「妖魚」「道成寺（山づくし） 鷺娘」の3作品が特別に出品された。

作 品：上村松園「よそほい」、伊藤小坡「つづきもの」、簗木清方「薄雪」、池田輝方「お七」、竹久夢二「かごめかごめ」、池田蕉園「夢の跡」、松浦舞雪「踊り」、小村雪岱「河庄」、伊東深水「戸外は春雨」など68点。

入場者：23,409人（1日平均780人）

◇世界遺産登録記念 聖地 日光の至宝展

会 期：2000年8月5日～9月17日（38日間）

休 室：毎週水曜日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：大人1,200円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：8月4日

主 催：京都文化博物館・NHK京都放送局・NHKきんきメディアプラン

共 催：日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社

後 援：ユネスコ・文化庁・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

協 賛：同和火災

制作協力：NHKプロモーション

担当者：南 博史

概 要：1999年12月、栃木県日光市の日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社とその周辺地域がユネスコの世界遺産に登録されたことを記念する展覧会。二社一寺などに守り伝えられてきた貴重な宝物や美術工芸資料、歴史資料の中から300点余りを選びすぐって展示。「聖地日光」の悠久の歴史と美を再発見。

作 品：大般涅槃経集解、小太刀 銘 来国俊（以上、国宝）、東照宮縁起絵巻、南蛮具足（徳川家康所用）（以上、重要文化財）、舞楽図屏風など、約300点を展示。

入場者：80,915人（1日平均2,129人）

◇没後170年記念展 良寛さん

会 期：2000年11月17日～12月17日（30日間）

休 室：11月29日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催：京都文化博物館・日本経済新聞社

後 援：文化庁・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

協 力：全国良寛会

協 賛：DNPアーカイブ・コム

担当者：土橋 誠

概 要：深い信仰心と豊かな見識を備えながら、生涯を通じて「修行」を貫いた良寛禅師は、様々なエピソードで親しまれるとともに、漢詩や和歌・書芸などで高い評価を得てきた。没後170年を記念して、新潟のゆかりの旧家が所蔵する門外不出や重要文化財の遺墨を中心に、その業績を振り返った。

作 品：一行「白雲流水共依々」、長歌「かなたには」（以上、重要文化財）、書簡「維馨尼宛正月十六日」、二字「天地」、「良寛和尚像」（安田鞞彦筆）など120件250点。

入場者：20,820人（1日平均694人）

◇京都府美術工芸新鋭選抜展～2001新しい波～

会 期：2001年1月4日～1月21日（17日間）

休 室：1月17日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館
 後 援：京都新聞社・朝日新聞京都支局・毎日新聞社京都支局・読売新聞大阪本社・産経新聞社・日本経済新聞社・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都・平安建都1200年記念協会

担当者：藤本恵子・洲鎌佐智子

概 要：京都で活躍している新進作家の作品を広く紹介し、その育成を図るとともに、京都の美術工芸の振興を図る展覧会。

作 品：

最優秀賞：北尾博史「森の部品—机上の森—」(彫刻)

優 秀 賞：伊庭靖子「untitled」(洋画)、谷口摩里子「透きとおる夜空の気持ち」(染織)、西田潤「絶」(陶芸) など47作家、87点。

入場者：4,367人(1日平均257人)

◇風景にたたずむ画家 都鳥英喜展

会 期：2001年2月3日～3月4日(29日間)

休 室：2月21日

開会式：2月3日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催：京都文化博物館・佐倉市立美術館・京都新聞社

後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・平安建都1200年記念協会・NHK京都放送局・KBS京都

担当者：長舟洋司・大西基子・野口 剛

概 要：千葉県佐倉に生まれた都鳥英喜(明治6～昭和18)は、明治35年に従兄弟の浅井忠に従って京都に移り、京都高等工芸学校の講師をつとめ、また浅井らに協力して聖護院洋面研究所や関西美術院を設立して逸材を輩出した。本展は、後進の指

導に力を注ぐとともに、自身も生涯を通して穏やかな風景画を描き続け、関西洋画壇の重鎮として多大な足跡を残した都鳥の画業を回顧するものである。

作 品：「籠屋」(1909)・「風景」(1910)・「南仏風景」(1919)・「鎧村」(1923)・「窓」(1925)・「入江」(1930)・「村の道」(1942) など87点

入場者：16,234人(1日平均560人)

◇最後の天才浮世絵師 月岡芳年展

会 期：2001年3月15日～4月15日(29日間)

休 室：3月21日、4月2日、4月9日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生500円

主 催：京都文化博物館・日本経済新聞社・京都新聞社

後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局

担当者：野口 剛・大西基子

概 要：月岡芳年は、12歳で歌川国芳門下に入り、21歳で独立して幕末から明治にかけて、活躍した浮世絵師である。北斎を畏敬し、諸派からさまざまな技術を吸収して、多彩な分野で芸術性の高い作品を制作した。本展は、最後の天才浮世絵師・月岡芳年の世界を、武者絵・歌舞伎絵・怪奇絵・美人画・新聞錦絵などで紹介した。

作 品：「京都四条夜討之圖」(1864)・「初代河原崎権十郎」(1862)・「田舎源氏」(1885)・「新形三十六怪撰 さぎむすめ」(1889)・「末廣五十三次 京都」(1865)・「皇国一新見聞誌 伏見の戦争」(1876)・「仮寝のきぬぎぬ」(1860) など277点。

入場者：21,690人(1日平均748人)

2000年度特別展の開催状況一覧

展覧会名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
季節を祝う 京の五節句	2000. 4.21～2000. 5.21	29	22,200	766	自主展
近代日本画に見る美人画名作展	2000. 6.16～2000. 7.17	30	23,409	780	共催展
聖地 日光の至宝展	2000. 8. 5～2000. 9.17	38	80,915	2,129	共催展
京の匠展—伝統建築の技と歴史	2000. 9.30～2000.11. 5	36	25,551	710	自主展
没後170年記念展 良寛さん	2000.11.17～2000.12.17	30	20,820	694	共催展
京都府美術工芸新鋭選抜展 2001	2001. 1. 4～2001. 1.21	17	4,367	257	共催展
風景にたたずむ画家 都鳥英喜展	2001. 2. 3～2001. 3. 4	29	16,234	560	共催展
最後の天才浮世絵師 月岡芳年展	2001. 3.15～2001. 4.15	29	21,690	748	共催展
計 8件		238	215,186	904	

(3) 特別陳列

◇焼物の民具と玩具

間)

会場：別館1階東室

概要：焼物を素材とする民具と郷土玩具109点を展示。

会期：2000年12月21日～2001年3月20日(81日)

を展示。

分野	資料名(採集地・産地)	期間
民具	甑・徳利・土器皿・手焙り・湯湯婆・胡麻煎り・茶壺・煙草盆・水甃・櫓炬燵・炬燵(以上、京都市)ノ油入れ(南山城村)ノ徳利(福知山市)ノ蚊燵(田辺町)ノ播り鉢(長岡京市)ノ中皿・中鉢・小皿(宮津市)ノ塩入れ(丹波)	全期
歴史資料	陶製瓦斯焔炉(京都市)	全期
風俗資料	燭台・灯台・水滴	全期
郷土玩具	鳩笛(青森市)ノふくろう笛・みみずく笛(福岡市)ノ土鈴・土面子・土コマ・でんぼ・神輿玩具(以上、京都市)ノ蚕鈴(岐阜市)ノ英彦山のガラガラ(福岡県添田町)ノ浮き玩具(瀬戸市)ノ天神・牛乗り天神・布袋・大将と従者・西行法師・羽織相撲・福助・徳須ちよる・立お福・おぼこ・まんじゅう喰い・船乗り童子・犬連れ童子・鶏抱き童子・鯛抱き童子・鯛抱き子供えびす(以上、伏見人形ノ京都市)	伏見人形は、2001年1月18日～3月20日の展示

◇ふるさとの羽子板

間)

会場：別館1階東室

概要：全国の羽子板32点を展示。

会期：2000年12月21日～2001年1月16日(23日)

分野	資料名(採集地・産地)	期間
郷土玩具	弘前の羽子板(青森県弘前市)ノ青森の羽子板(青森市)ノ仙台の羽子板(宮城県仙台市)ノ石巻の羽子板(宮城県石巻市)ノ気仙高田の羽子板(岩手県陸前高田市)ノ桐生の羽子板(群馬県桐生市)ノ江戸羽子板(東京都)ノ東京の押絵羽子板(東京都)ノ高田の羽子板(新潟県上越市)ノ中野の羽子板(長野県中野市)ノ泊の羽子板(鳥取県東郷町)ノ倉吉の羽子板(鳥取県倉吉市)ノ常石の羽子板(広島県沼隈町)ノ宮島の羽子板(広島県宮島町)ノ柳川の羽子板(福岡県柳川市)ノ国分八幡の羽子板(鹿児島市)	全期

◇雛人形展

概要：時代の流れを追った作品とふるさとの雛人形36点を展示。

会場：3階美術工芸北側展示室

雛人形36点を展示。

会期：2001年2月22日～3月20日(26日間)

名称	時代	備考	名称	時代	備考
立雛	江戸時代		次郎左衛門雛	江戸時代	吉川観方コレクション
立雛	江戸時代	吉川観方コレクション	有職雛	江戸時代	吉川観方コレクション
立雛	江戸時代	吉川観方コレクション	古今雛	江戸時代	脇和代氏寄附
立雛	明治時代	吉川観方コレクション	古今雛	江戸時代	吉川観方コレクション
奈良人形立雛	江戸時代	吉川観方コレクション	古今雛	江戸時代	松尾賢一郎氏寄附
奈良人形立雛	明治時代	吉川観方コレクション	陶器雛	明治時代	伊藤昭子氏寄附
元禄雛	江戸時代	吉川観方コレクション	おぼこ雛	大正時代	高須春枝氏寄附
享保雛	江戸時代	吉川観方コレクション	有職面竹雛	昭和37年	仁田壽子氏寄附

名称	産地	備考	名称	産地	備考
堤土雛	仙台市	躰コレクション	富士土雛	富山市	吉田文治氏寄附
相良土雛	米沢市	吉川観方コレクション	名古屋土雛	名古屋市	躰コレクション
中山土雛	横手市	躰コレクション	名古屋立雛	名古屋市	躰コレクション
鴻巣練り雛	鴻巣市	躰コレクション	小幡土雛	滋賀県五箇荘町	躰コレクション
浅草土雛	東京都	躰コレクション	伏見立雛	京都市	堂本元次氏寄附
松本押絵雛	松本市	躰コレクション	粉河の流し雛	和歌山県粉河町	躰コレクション

鳥取の田舎雛	鳥取市	舂コレクション	佐土原土雛	宮崎県佐土原町	舂コレクション
鳥取の流し雛	鳥取市	舂コレクション	鹿児島のお雛	鹿児島市	舂コレクション
長浜土雛	浜田市	舂コレクション	那覇の紙雛	那覇市	舂コレクション
津屋崎土雛	福岡県津屋崎町	舂コレクション	各地の郷土人形	日本各地	舂コレクション

(4) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」

等からテーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導、などにおいて協力している。

主催者	期間	開催場所	展示内容
京都府公園緑地課	2000. 4.29～ 5. 8	けいはんなみどりのギャラリー	「京の四季」から15点
園部町教育委員会	2000. 6.10～ 7. 9	園部町園部文化博物館	小牧源太郎作品24点
大江町・大江町教育委員会	2000. 9.30～10. 4	日本の鬼の交流博物館	「京の絵本」原画から25点
京都府	2000.10.20～12.28	京都府庁	「京の四季」から6点
(財)やわた市民文化事業団	2000.11.23～12. 5	八幡市文化センター	「いのち賛歌」から15点
京都府	2001. 1. 9～ 3.30	京都府庁	「京の四季」から6点

3-3 映画

(1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
2000. 4. 2～ 5.22	映画監督 内田吐夢 その人と作品	汗／土／血槍富士／たそがれ酒場／どたんば／暴れん坊街道／浪花の恋の物語／妖刀物語 花の吉原百人斬り／恋や恋なすな恋／宮本武蔵 宮本武蔵 般若坂の決斗／宮本武蔵 二刀流開眼／宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗／飢餓海峡	30	58	3,594
2000. 5.26～ 6.12	京の匠一文化映画特集	京時絵／京家歌／車大工／古典雅楽器／文化財を守る人たち／甦る文化財／京の和紙／櫛とかんざし／京くみひも／京扇子・京うちわ	12	24	445
2000. 6.13	工芸記録映画シリーズ27 『羅』完成試写会	羅一北村武賢のわざ	1	1	89
2000. 6.16～ 7. 3	梶原金八 一京都鳴滝に集う活動屋たち	右門一番手柄 兩蛮幽霊／磯の源太 抱覆の長脇差／大菩薩峠／怪盗白頭巾／ナンセンス諸説三浪士／丹下左膳余話 百万両の壺／戦国群盗伝／人情紙風船／その前夜	12	24	1,106
2000. 7. 7～ 7.31	和製おぼけ・妖怪映画特集	淡川伴五郎／有馬猫／番町血屋敷 お菊と播磨／白蛇伝／東海道四谷怪談／初春狸御殿／怪談	14	28	1,478
2000. 7.16～ 7.17	祇園祭記念特別上映	祇園祭	2	4	365
2000. 8. 4～ 8. 5	京都が誇る偉大な映画人を偲ぶ 「宮川一夫ゆかりの会」映画上映	映画の天使／反射スル眼	2	3	236
2000. 8. 6～ 8.28	新劇神話の巨人を偲ぶ 滝沢修追悼特集	綴方教室／わが生涯のかゝやける日／破戒／ペン偽らず・暴力の街／原爆の子／夜明け前／黒い潮	14	28	2,089
2000. 9. 1～ 9.30	映画にみる京一反乱、動乱、維新	新平家物語／地獄門／千利休 本覺坊遺文／暗殺／わが青春に悔なし／竜馬暗殺／序の舞／祇園の姉妹／炎上	18	36	3,145
2000.10. 1～10.30	殺陣は心をゆさぶるか？ チャンバラを越えた時代劇ルネッサンス	椿三十郎／切腹／座頭市物語／斬る／忍びの者／武士道残酷物語／眠狂四郎 殺法帖／上意討ち 拝領妻始末	16	32	2,174

2000.10. 6～10. 7	朽木村針畑地域生活記録映画特集	ハルとこのの／べべ／テゴを作る	2	4	213
2000.11. 3～11.27	現実と幻想、交錯するイメージ	狂った一頁／疏水流れに沿って／信濃風土記／風の又三郎／白痴／雨月物語／ノンちゃん雲に乗る／砂の女／薔薇の葬列	16	31	1,706
2000.11. 3	日本映画テレビ技術協会 特別試写会	金融腐蝕列島 呪縛	1	1	102
2000.12. 1～12.25	追悼 映画監督 吉村公三郎特集	暖流／西住戦車長伝／偽れる盛装／源氏物語／西陣の姉妹／足摺岬／大阪物語／女の坂	16	32	2,388
2001. 1. 5～ 1.29	日本人の琴線を探る 1 庶民=笑い×涙	彦六大いに笑ふ／或る夜の殿様／自由学校(大映)／自由学校(松竹)／本日休診／お茶漬の味／大阪の宿／この広い空のどこかに	16	32	2,280
2001. 2. 2～ 2.26	俳優・森雅之特集	安城家の舞踏会／破れ太鼓／あにいもうと／恋文／蟹工船／浮雲／挽歌／悪い奴ほどよく眠る	16	32	2,963
2001. 3. 2～ 3.31	映画監督・成瀬巳喜男の世界	夜ごとの夢／妻よ薔薇のやうに／おかあさん／夫婦／妻／晩菊／流れる／女が階段を上がる時／秋立ちぬ	18	36	3,036
2001. 3. 3～ 3. 4	KYOTO映画塾 第十期卒業制作試写会	権太	2	4	180
計			208	410	27,589

(2) 特別上映・共催事業

◇「映画監督・内田吐夢 その人と作品」記念講演会
・2000年4月29日

「歌舞伎古典芸能への挑戦 写楽映画化への夢」内田千鶴子(写楽研究家)

富士郎(映画撮影)／溝口勝美(当館囑託)

資料展示：日本映画テレビ技術協会、宮川家所蔵の宮川一夫氏関連資料のギャラリー展示

◇文化庁工芸技術記録映画特別上映会

『羅一北村武資のわざー』

(2000年文化庁・日経映像／監督：黒崎洋一)

開催日：2000年6月13日

共催：文化庁

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「追悼・宮川一夫特集」

期間：2000年8月1日～3日

共催：日本映像学会関西支部、京都府

会場：京都府立ゼミナールハウス

◇宮川一夫ゆかりの会

期間：2000年8月4日～5日

特別協力：スタジオデルタ、日本映画テレビ技術協会

作品上映：『映画の天使』

(2000年スタジオデルタ／監督：高岡茂)

『反射スル眼』(2000年スタジオ・アニメ、宮川家／監督：亀井武彦)

・8月5日 座談会「宮川一夫を偲ぶ」

藤村志保(女優)／中岡源権(映画照明)／内藤 昭(映画美術)／森田

◇「映画にみる京一反乱、動乱、維新」記念講演会
・2000年9月16日

「京都リベラリズムを考える

—映画『わが青春に悔なし』とその時代」

坂本慶一(京都大学名誉教授)

共催：京都生涯教育研究所

◇朽木村針畑地域生活記録映画特集

期間：2000年10月6日～7日

共催：京都精華大学針畑資料研究会

作品上映：『テゴを作る』(1984年)

『べべ』(1989年)

『ハルとこのの』(2000年)

(いずれも、京都精華大学針畑資料研究会作品)

・10月7日 講演会「里山のくらしに学ぶこと」

丸谷 彰(京都精華大学針畑生活研究会)

◇日本映画テレビ技術協会特別試写会

『金融腐蝕列島 呪縛』

(1999年角川映画・東映作品／監督：原田真人)

開催日：2000年11月12日

共催：日本映画テレビ技術協会

(3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。詳細については『京都

文化博物館10年のあゆみ』(1999年)を参照されたい。

なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2000年度は下記のテーマで展示した。

期 間	テ ー マ	期 間	テ ー マ
2000. 4. 2～ 5.22	映画監督・内田吐夢フィルモグラフィー	2000.10. 1～11. 2	スチル写真で見る勝新太郎フィルモグラフィー
5.23～ 7. 6	梶原金八ー京都鳴滝に集う活動屋たち	11. 3～11.30	現実と幻想、交錯するイメージ
7. 7～ 7.31	映画『祇園祭』関連資料／ 和製おばけ・妖怪映画特集展示	12. 1～12.27	映画監督・吉村公三郎フィルモグラフィー
8. 1～ 8.31	カメラマン・宮川一夫を偲ぶ／ 俳優・滝沢修フィルモグラフィー	2001. 1. 5～ 1.31	日本人の夢線を探る1 庶民＝笑い×涙
9. 1～ 9.30	映画にみる京ー反乱、動乱、維新	2. 1～ 2.28	俳優・森雅之フィルモグラフィー
		3. 1～ 3.31	映画監督・成瀬巳喜男フィルモグラフィー

(4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
畑 利明	東映京都撮影所長	土田 正義	KYOTO映画塾	三品 廣実	京都府文化芸術室
多田道太郎	京都大学名誉教授	森田富士郎	映画撮影監督	岡本 道雄	内部委員
内藤 昭	映画美術監督	松本 俊夫	京都造形芸術大学教授	高見 静治	内部委員
中島 貞夫	映画監督	神野 洋志	京都興行協会常任理事	溝口 勝美	内部委員



映像ギャラリー常設展示風景
(3階映像ギャラリー)



2000年9月16日
雲林院跡埋蔵文化財調査現地説明会風景

4. 調査研究活動

4-1 調査

(1) 埋蔵文化財の発掘と整理

◇雲林院跡遺跡の発掘と整理

遺跡名：雲林院跡

所在地：京都市北区紫野雲林院町

発掘期間：2000年5月15日～2000年9月28日

依頼者：三井不動産株式会社関西支社

調査原因：マンション建設

調査面積：1,685㎡

担当者：鈴木忠司・定森秀夫・南 博史

調査概要：南北約130mの建設用地内の北端と南端に調査区を設け、それぞれ北区、南区とした。

【北区】平安時代前期に構築された直径30mほどの苑池、掘立柱建物、土器集中が検出された。池畔の西北部に掘立柱建物が建てられ、掘立柱群の中央部には、400個体以上の土器群からなる土器集中がある。掘立柱建物は二時期に分けられ、南建物が9世紀前半に、北建物が9世紀後半に構築されたと考えられる。土器集中は南建物に対しては北側に接し、北建物に対しては南側に接する位置を占めるが、下層から上層にいたる土器型式は、二時期の掘立柱建物の存続時期と並行しているといえる。池の北側では9世紀後半から10世紀前半の井戸も発見され

た。

【南区】瓦や緑釉陶器など平安時代の遺物は発見されたが、同時代の遺構は発見されていない。南区は鎌倉～室町時代の多数の土取穴が特徴的である。また、おそらく同時期の所産と考えられる畝状遺構も発見されている。江戸時代の遺構では、多量の大小の礫と粘質土とで充填された、性格不明の長方形土坑が4基集中して発見された。このほか多数の柱穴状ピットが検出された。大部分は江戸時代中期以降の所産と考えられるが、何らかの建物を推測させるような検出例はない。

主要遺構：

【北区】掘立柱建物、苑池、井戸、土器集中（以上平安時代前期）

【南区】土取穴、畝状遺構（以上鎌倉～室町時代）、方形石詰め遺構（地業か）、井戸（以上江戸時代）

主要出土品：

【北区】白磁、緑釉陶器、灰釉陶器、土師器、須恵器、瓦、土馬、香炉、ミニチュア土器

【南区】瓦、土師器、瓦器、陶磁器

4-2 学芸員の活動

(1) 博物館研究費による研究

石沢誠司 五節句と節句人形の研究

大西基子 幕末から明治の四条派一豊彦・文麟・椋嶺一

大塚活美 京都および周辺地域の祭礼についての研究

藤本恵子 三代田畑喜八の友禅染における技法と意匠について

野口 剛 近世画家資料集成 2

森脇清隆 大映京都撮影製作映画作品の担当監督について

鈴木忠司 岩宿文化の食体系再考

南 博史 歴史系博物館の教育活動において考古学をどう利用していくか―遺跡博物館の可能性を考える (1)―

土橋 誠 異体字データベースの研究 (1)

(2) 外部研究費・共同研究等による研究

洲鎌佐智子・平成12年度文部省科学研究費補助金奨励研究 (B)「近代工芸をめぐる基礎資料調査とデータベース化」

定森秀夫・平成12年度文部省科学研究費補助金奨励研究 (B)「日本出土朝鮮陶器の基礎的研究」

南 博史・共同研究「エルサルパドル・チャルチュ
アパ遺跡カサブランカ地区における考
古学調査」（代表：伊藤伸幸名古屋大
学助手・新大陸文化研究所代表）

(3) 出講・委嘱

石沢 誠司・第12回創工会展委嘱 審査員
・京都府美術工芸新鋭選抜展 審査員
・国立民族学博物館委嘱 資料評価委員
大塚 活美・京都国立博物館委嘱 有形文化財評価
員
藤本 恵子・NHKきんきメディアプラン委嘱
人間国宝・三代田畑喜八展企画委員
・京都SKYセンター委嘱 展示指導
(2001年3月14日)
洲鎌佐智子・嵯峨美術短期大学出講（後期） 「工
芸史概説」
森 脇 清 隆・大谷大学短期大学部出講（後期）
「映像論」
野 口 剛・京都府立大学出講（前期） 「博物館
概論」
片岡 肇・木下美術館委嘱 理事
鈴木 忠 司・古代学協会委嘱 「古代文化」刊行委
員会編集参与
植山 茂・山城町教育委員会委嘱 高井出瓦窯
跡発掘調査指導
・福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館委嘱
出土資料取扱指導（2000年2月）
山下 秀 樹・京都府立大学出講（通年） 「博物館
実習講義」
定 森 秀 夫・花園大学出講（通年） 「考古学研究」
・滋賀大学出講（集中講義） 「博物館
情報・経営論」
・財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵
文化財センター委嘱 遺物鑑定（2000
年11月20日～21日）
南 博 史・京都外国語大学出講（通年） 「考古
学の基礎」
・京都外国語大学出講（通年） 「博物
館実習Ⅰ」
・古代学協会委嘱 「古代文化」刊行委
員会編集参与

(4) 学芸員の業績

a. 論文・著作

石沢誠司 ・ 図録『季節を祝う 京の五節句』共同
編集（京都文化博物館、2000年4月）
・「五節句とは何か」「上巳」「七夕」「作
品解説（分担）」（図録『季節を祝う
京の五節句』所収）
・「京の五節句」（『郷玩文化』第139号
所収、郷土玩具文化研究会、2000年7
月）
・「仙台七夕祭に紙衣を求めて」（『郷玩
文化』第141号所収、郷土玩具文化研
究会、2000年10月）
・「『日次紀事』に見る江戸前期の京都の
五節句」（『郷玩文化』第142号所収、
郷土玩具文化研究会、2000年12月）
大西基子 ・「上村松園」（『週刊20世紀 1924』所
収、朝日新聞社、2000年4月）
・「作品解説（分担）」（図録『近代日本
画に見る美人画名作展—福富太郎コレ
クション—』所収、京都文化博物館、
2000年6月）
・「竹内栖鳳」（『週刊20世紀 1942』所
収、朝日新聞社、2000年7月）
・「京都画壇における光瑠の位置づけ」
（図録『みやびの情景・京の日本画—
京都市立芸術大学の伝統と革新—』所
収、四日市市立博物館、2001年3月）
大塚活美 ・「中世における湖東と異国・異域」
（『蒲生野』第32号所収、八日市郷土文
化研究会、2000年12月）
・「中世における祇園祭の地方伝播」（京
都文化博物館研究紀要『朱雀』第13号
所収、京都文化博物館、2001年3月）
・「翻刻『朝鮮国使日録』（土橋誠と共
同執筆／京都文化博物館研究紀要『朱
雀』第13集所収）
藤本恵子 ・ 図録『季節を祝う 京の五節句』共同
編集（前掲）
・「三代田畑喜八のモダンデザイン」（図
録『京友禅の華—人間国宝 三代田畑
喜八の美—』所収、NHKきんきメデ
ィアプラン、2001年1月）
・「<花洛十二か月>三月—雛祭り—」

- (『茶道雑誌』第65巻第3号所収、河原書店、2001年3月)
- 長舟洋司 · 図録『風景にたたずむ画家 都鳥英喜展』共同編集(京都新聞社、2001年2月)
- 「京都での都鳥英喜」(図録『都鳥英喜展』所収)
- 「都鳥英喜展作品解説」(5回分)(『京都新聞』所収、2000年2月)
- 洲鎌佐智子 · 図録『季節を祝う 京の五節句』共同編集(前掲)
- 「新春・七種」「端午」「作品解説(分担)」(図録『季節を祝う 京の五節句』所収)
- 「<花洛十二か月>一月一新春の風景」(『茶道雑誌』第65巻第1号所収、河原書店、2001年1月)
- 「20世紀の陶芸 人間国宝の世界展から」(3回分)(『神戸新聞』所収、2001年1月)
- 野口 剛 · 「作品解説(分担)」(図録『季節を祝う 京の五節句』所収)
- 「『平安人物志』に記された蕪村」(『国文学 解釈と鑑賞』第837号所収、至文堂、2001年1月)
- 図録『最後の天才浮世絵師 月岡芳年展』共同編集(日本経済新聞社、2001年3月)
- 「月岡芳年と京都の美人画—三島上龍からの図柄借用—」(図録『最後の天才浮世絵師 月岡芳年展』所収)
- 「絵師の僧位叙任をめぐる断章—『画工任法橋法眼年月留』の紹介をかねて—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第13号所収)
- 片岡 肇 · 「表装」「文友会について」「作品解説(分担)」(図録『京の匠展—伝統建築の技と歴史—』所収、京都文化博物館、2000年9月)
- 鈴木忠司 · 「古禮里遺跡の礫石器について」(『韓国旧石器学報』第2号所収、韓国旧石器学会、2000年12月)
- 「岩宿時代敲石類研究への視点」(黒坪一樹氏との共同執筆／『九州旧石器』第4号所収、九州旧石器文化研究会、2000年12月)
- 「岩宿時代の槍と陥穴」(『考古学ジャーナル』第468号所収、ニューサイエンス社、2001年1月)
- 「捏造問題への対応について」(『季刊考古学』第74号所収、雄山閣出版、2001年2月)
- 「石蒸し調理実験記録—岩宿時代の食をめぐる—」(磯群調理実験グループと共同執筆／京都文化博物館研究紀要『朱雀』第13号所収)
- 植山 茂 · 図録『京の匠展—伝統建築の技と歴史—』共同編集(京都文化博物館、2000年9月)
- 「瓦葺き」「作品解説(分担)」(図録『京の匠展』所収)
- 山下秀樹 · 図録『京の匠展—伝統建築の技と歴史—』共同編集(前掲)
- 「『京の匠展』への誘い」「概要」「技術解説」「作品解説」(図録『京の匠展』所収)
- 南 博史 · 『博物館実習』(共著)(鈴木真理編『博物館学シリーズ』3所収、樹村房、2000年9月)
- 「京都文化博物館における教育普及活動についての報告—入館者調査と評価実施への指針として—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第13集所収)
- 土橋 誠 · 「私請印儀礼について」(岡田精司編『祭祀と国家の歴史学』所収、塙書房、2000年12月)
- 「印鑰社について」(『京都府埋蔵文化財論集』第4集所収、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター、2001年3月)
- 「印章のもつ呪術的性格について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第13集所収)
- 「翻刻『朝鮮国使日録』」(大塚活美と共同執筆／京都文化博物館研究紀要『朱雀』第13集所収)
- b. 発表・講演
- 石沢誠司 · 「京都の五節句」(京の五節句展、京都文化博物館、2000年5月13日)

- ・「ひな祭の歴史」(雛祭り展講演会、福山市鞆の浦歴史民俗資料館、2001年2月25日)
- 藤本恵子 ・「染織デザインセミナー」(京都市染織試験場、2001年1月9日)
- 洲鎌佐智子 ・「列品解説」(京の五節句展、京都文化博物館、2000年5月6日)
- 片岡 肇 ・「遺跡と洋風近代建築と博物館—文化財の調査と保存と活用について」(「京都の文化財を守る会」平成12年度文化財研修会、京都文化博物館、2000年6月3日)
- 鈴木忠司 ・「東海非黒耀石地帯の細石核」(基調報告)(第12回中・四国旧石器文化談話会、高知、2000年10月22日)

- ・「岩宿時代を考える—一時代とその呼称、区分—」(岩宿大学第5講、群馬県笠懸町文化ホール、2000年11月26日)
- 植山 茂 ・「京都の歴史」(光華女子大学短期大学部「京都の文化と芸術」、光華女子大学短期大学部、2000年10月20日)
- ・「列品解説」(京の匠展、京都文化博物館、2000年10月21日)
- ・「天下一鏡師たちの工房跡」(京都橘女子大学歴史文化ゼミナール「天下一の時代—16~17世紀の京都—」、京都文化博物館、2000年10月24日)
- 定森秀夫 ・「京都の渡来文化」(光華女子大学短期大学部「京都の文化と芸術」、光華女子大学短期大学部、2000年10月13日)



京都文化博物館研究紀要
『朱雀』第13集



図録『季節を祝う 京の五節句
—新春・雛祭・端午・七夕・重陽—』



図録『京の匠展
— 伝統建築の技と歴史 —』

5. 普及活動

5-1 出版物

(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

◇『朱雀』第13集

発行：京都文化博物館

発行日：2001年3月31日

印刷：三星商事印刷(株)

体裁：B5判、122ページ

編集担当：長舟洋司

所載記事：

【論放】

- 土橋 誠 印章のもつ呪術的性格について
大塚活美 中世における祇園祭の地方伝播
南 博史 京都文化博物館における教育普及活動についての報告—入館者調査と評価実施への指針として—

【研究ノート】

- 鈴木忠司・磯群調理実験グループ
石蒸し調理実験記録—岩宿時代の食をめぐる—

【資料紹介】

- 大塚活美・土橋 誠 翻刻『朝鮮国使日録』
野口 剛 絵師の僧位叙任をめぐる断章—
『画工任法橋法眼年月留』の紹介をかねて—

(2) 京都文化博物館年報

◇1998・1999年度

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2001年3月31日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：A4判、60ページ

編集担当：片岡 肇・大塚活美

(3) 展覧会図録

◇『季節を祝う 京の五節句

—新春・雛祭・端午・七夕・重陽』

編集：京都文化博物館学芸第一課

発行：京都文化博物館

発行日：2000年4月20日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：A4判、196ページ

編集担当：古郷彰治・石沢誠司・洲鎌佐智子・藤本恵子

◇『近代日本画に見る美人画名作展

—福富太郎コレクション』

編集：(株)アートワン

発行：京都文化博物館

発行日：2000年6月

印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：A4判、116ページ

◇『京の匠展—伝統建築の技と歴史—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：2000年9月30日

印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：A4判、184ページ

編集担当：山下秀樹・植山 茂

◇『京都府美術工芸新鋭選抜展～2001新しい波～』

編集・発行：京都府・京都文化博物館

発行日：2001年1月

制作・印刷：(株)写真化学

体裁：25cm×25cm、60ページ

◇『都鳥英喜展』

編集：京都文化博物館・佐倉市立美術館・京都新聞社

発行：京都新聞社

発行日：2001年2月

印刷：日本写真印刷(株)

体裁：A4判、128ページ

◇『最後の天才浮世絵師 月岡芳年展』

編集：京都文化博物館・日本経済新聞社大阪本社

発行：日本経済新聞社大阪本社

発行日：2001年3月15日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：28cm×22.5cm、140ページ

(各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の開始月を挙げた)

5-2 講演会・音楽会

(1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
2000. 4. 8 4.29	佐々木もと子 内田千鶴子	池大雅美術館館長 写楽研究家	歌舞伎・古典芸能への挑戦 写楽映画化への夢	池大雅展ギャラリートーク 映画監督・内田吐夢特集講演会
◇	古郷 彰治	前当館主任学芸員 京都中小企業総合セン ター産業デザイン係長		京の五節句展列品解説
5. 6	洲鎌佐智子	当館学芸員		京の五節句展列品解説
5.13	石沢 誠司	当館学芸第一課長	京都の五節句	京の五節句展講演会
5.14	白丸 節子	手芸家	セタさん(紙衣)をつくろう	京の五節句展関連イベント
8. 5	藤村 志保 中岡 源権 内藤 昭 森田富士郎 溝口 勝美	女優 映画照明 映画美術 映画撮影 当館嘱託	宮川一夫を偲ぶ	宮川一夫特集座談会
9.16	坂本 慶一	京都大学名誉教授	京都リベラリズムを考えるー 映画『わが青春に悔いなし』とその時代	映画にみる京記念講演会
9.30	番匠保存会		新始め鑑賞	京の匠展関連イベント
10. 1	文友会		檜皮葺きの実演	京の匠展関連イベント
10. 7	文友会		瓦葺きの実演	京の匠展関連イベント
◇	丸谷 彰	京都精華大学	里山のくらしに学ぶこと	朽木村針畑地域生活記録映画特集講演会
10. 8	文友会		檜皮葺きの実演	京の匠展関連イベント
10.14	文友会		瓦葺きの実演	京の匠展関連イベント
10.15	文友会		檜皮屋根棟瓦付けの実演	京の匠展関連イベント
10.21	植山 茂	当館主任学芸員		京の匠展列品解説
10.22	京都府文化財保護課		西本願寺屋根修復工事現場見学会	京の匠展関連イベント
10.28	山下 秀樹	当館主任学芸員		京の匠展列品解説

(2) 音楽会

a. 京都文化博物館音楽会シリーズ

「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会

協賛：吉忠株式会社

協力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズⅨ・近代から現代へのフランス音楽の輝き

第四夜	現代フランス六人組より	2000年 4月 6日	81名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	田淵千代子（ピアノ）／伊藤真理子（ヴァイオリン）／吉信 博（クラリネット）		
曲目	ミヨー：組曲「秋」Op. 115／オネゲル：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 プーランク：クラリネットとピアノのためのソナタ		
第五夜	世紀の天才ラヴェル	2000年 6月23日	117名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	芝 令子（ピアノ）／田辺良子（ヴァイオリン）／斎藤建寛（チェロ）		
曲目	ラヴェル：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ、ヴァイオリンとチェロのためのソナタ、ピアノ三重奏曲 イ短調		
第六夜	世界の魅力とローカルの魅力ーメシアン	2000年 8月24日	72名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	藤井一興（ピアノ）		
曲目	メシアン：みどり児イエスにそそぐ20のまなざし		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズX・ヴィルトゥオーゾの誕生 その1-ヴァイオリン編

第一夜	ヴァイオリン音楽の輝かしい黎明ーコレルリとヴィヴァルディ	2000年10月31日	88名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	伊藤真理子（ヴァイオリン）／田淵千代子（ピアノ）		
曲目	コレルリ：ヴァイオリン・ソナタ 二短調 Op.5-12（ラ・フォルリア） ヴィヴァルディ：協奏曲集「和声と創意の試み」Op.8より「四季」		
第二夜	ヴァイオリン音楽の飛躍的充実ーロカテルリとタルティーニ	2000年12月18日	82名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	田辺良子（ヴァイオリン）／クラウディオ・ソアレス（ピアノ）		
曲目	ロカテルリ：ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 Op.6-1 タルティーニ：ヴァイオリン・ソナタ ト長調 Op.1-4／ヴァイオリン・ソナタ ト短調「悪魔のトリル」		
第三夜	世紀の天才とその魅力ーパガニーニ	2001年 2月16日	173名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	田島まり子（ヴァイオリン）／ 莊村清志（ギター）		
曲目	パガニーニ：ヴァイオリンとギターのためのソナタ・コンチェルタータ イ長調、24のキャプリース Op.1より 5番・13番・15番・17番・24番、ヴァイオリンとギターのための6つのソナタ Op.3より 1番・6番、ヴァイオリンとギターのための6つのチェントーネ・ディ・ソナタより 2番 二長調、カンタービレ 二長調 Op.17 ほか		

b. 第11回祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ

日時：2000年7月15日、16日

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館
ろうじ店舗博和会

協賛：(株)千總・(株)川島織物

会場：京都文化博物館別館ホール

演奏者：生田流宮城会顧問会社中（代表者 浅野

愛子）

演目：三絃合奏（きぬた、越後獅子）、さくら
変奏曲、京の夜、落葉の踊、夕顔、華紋
篝火 ほか

入場者：1,275人

* 祇園祭協賛事業として開催し、別館を午後6時から8時30分まで無料公開した。

5-3 博物館実習

①第1組

実施期間：2000年7月17日～21日（ただし20日は休日）

実習生：京都府立大学5人、立命館大学3人、滋賀県立大学2人

②第2組

実施期間：2000年8月22日～25日

実習生：京都外国語大学5人、京都造形芸術大学3人、大阪学院大学1人、京都精華大学1人

③実習内容・担当者

- ・博物館の概要・館内見学ー石沢・片岡・南
- ・美術資料について ー大西・長舟・野口
- ・工芸資料について ー洲鎌・藤本
- ・民俗資料について ー石沢・大塚
- ・文書資料について ー土橋
- ・考古資料について ー南・定森
- ・映像資料について ー森脇
- ・まとめと反省 ー全担当学芸員

5-4 その他の活動

(1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約56,000冊、逐次刊行物約1万タイトルを収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約21,100冊、展覧会図

録が約8,100冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して、公開している。

なお、今年度の書籍の受け入れ数は4,706件であっ

た。

(2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、京都の伝統行事、歴史、庭園、寺社の御利益、散歩道、コーヒーショップ、京の花などが検索できる「京のオススメ」と、近畿の歴史文化についてのCDによる動画情報の「歴史街道—ロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。

(3) 生涯学習ボランティア

京都府長寿社会政策室の呼びかけに応じて発足させた生涯学習ボランティアは、常設展示の英語によるガイドとして、外国人の入館者に対するサービスを行ってきた。ボランティア・グループは「MOKの会」を結成して、総会・例会・研修会など独自の活動を実施している。

①2000年度の活動（会員数34名）

- 4月8日 2000年度総会
- 6月10日 6月例会
- 9月2日 9月例会
- 11月11日 見学研修会（銀閣寺、伏見稻荷大社）
- 1月20日 1月例会

1月26日 第3回学習ひろば

（於：京都府立植物園）

3月10日 3月例会

2001年度役員選出（1班—田村洋子、
2班—大槻久美子、3班—志賀 博）

(4) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術・工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的として、1990年4月に発足した。

◇会員の特典

- ・会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・博物館発行出版物の割引

◇会費

個人会員 年会費 6,000円
グループ会員（2名以上）年会費 5,000円（1人）

◇2000年度の状況

会員総数 971名（個人 643名、グループ 328名）

見学会

見学日：2000年11月21日

見学先：福王子神社本殿・拝殿修理現場

説明者：富澤祥光京都府文化財保護課専門員

参加者：46名



10周年を迎えた「歴史と共に＜音楽＞を
楽しむ音楽会」シリーズXのちらし



2000年11月19日

陝西歴史博物館研修生の田景超氏と胡雪蘭女士
（周恩来首相の「雨中嵐山」の詩碑の前で）

6. 国際交流

6-1 陝西歴史博物館友好交流事業

1991年6月に中国陝西省西安市に開館した陝西歴史博物館と当館とは、1994年の「大唐長安展」開催を契機に、同年12月に友好提携の調印を行い、学術研究の成果の交流、文物の保護技術の交流、人材の育成・交流、を通じて両館の友好関係を確立し、推進することとした。その結果、人的な交流については、1年おきにそれぞれの職員2名を2週間派遣することになり、1995年に当館の職員を陝西省に派遣することから両館の交流の第一歩を踏み出した。

この友好交流事業は、京都府からの補助事業という形で進められてきたが、長引く経済不況の下で、京都府も財政再建に取り組むこととなり、そのため1999年度に予定されていた第5回友好交流事業（第3回当館職員派遣）は、やむなく中止された。しかし、この中止は当館側の事情によるものであり、すでに先方において職員派遣の準備が進められていたこともあって、2000年度の陝西歴史博物館職員の招聘は、予定通り行うこととした。

(1) 第6回友好交流事業

(第3回陝西歴史博物館職員招聘)

今回、陝西歴史博物館から派遣されたのは、田景超氏（保衛処処長）と胡雪蘭氏（副研究員）の2名

の職員で、2000年11月17日から12月2日までの2週間の滞在であった。田氏は博物館の警備等について、また胡氏は博物館・美術館における研究のあり方についての研修を目的とする来日であった。

両氏は、当館ならびに京都府文化芸術室と京都文化財団関連施設（京都府立文化芸術会館、京都府立府民ホール、京都府立堂本印象美術館）を表敬訪問した後、京都府及び近隣府県の博物館・美術館施設等（京都府立総合資料館、京都国立近代美術館、京都国立博物館、兵庫県立歴史博物館、神戸市立博物館、奈良国立博物館など）を視察した。

また京都市内では、文化財修復現場（清水寺楼門）や埋蔵文化財の発掘現場（京都御苑内迎賓館用地）を視察するとともに、晩秋の京都の社寺や史跡も訪れた。京都滞在の後半に開いた当館職員との懇談会では、胡氏による唐代皇帝陵についての研究発表があり、さらに博物館の管理の問題などについても、相互の意見の交換を行った。

その後両氏は、東京で東京都江戸東京博物館などを視察して、12月2日に帰国の途についた。短い期間ではあったが、両館の友好交流を深め、成果をあげることのできた2週間であった。

6-2 その他の交流事業

国際協力事業団では、主として開発途上国を対象に、文化財の保存と整備の推進に貢献することを目的として、1992年度から「文化財修復整備技術コー

ス」を設けて、京都の関連諸機関の協力を得て、研修を実施してきた。当館では、1993年度から「展示技術」に関する研修を受け入れてきた。

研修年月日	研修内容		研修員	
	研修名	担当者	人数	国名
2000年 3月16日	京都文化博物館の概要・館内見学	鈴木忠司学芸第二課主幹	8	ブータン・カンボディア・ 中国・ミャンマー・パキス タン・スリランカ・ヴィエ トナム・ニウエ
3月17日	京都文化博物館 常設展示・特別展示の展示技術 民俗資料の展示への利用について 「旧日本銀行京都支店」の保存と利用について	南 博史学芸第二課学芸員 大塚活美学芸第一課学芸員 片岡 肇学芸第二課長		

※ 前年度の実施ではあるが、当館では2000年度の事業として位置づけている。

7. ギャラリー事業

7-1 5・6階展示室

(1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は、学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は、学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家等の作品について審議している。2000年度の委員会は以下のとおり開催した。

委員会開催日	審議対象期間	件数
2000年 6月22日	2000年12月～2001年 3月	18
10月19日	2001年 4月～2001年 7月	14
2001年 3月 1日	2001年 8月～2001年11月	19

(2) 美術・工芸作家の利用

京都府工芸美術陳列所（京都府ギャラリー）の機能を引き継いで、当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。2000年度の利用件数は、52件であった。なお、1999年7月にピックアップレーンを設置したことにより、6階展示室においても美術・工芸作家の利用が可能となった。

①作家利用一覧

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
2000. 4.20～24	日本画光玄展	日本画	2000. 9.27～30	京焼・清水焼伝統工芸士作品展	陶芸
20～24	面風会能面・狂言面展	諸工芸	10.19～23	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合
20～24	山川章三ろう染きもの制作展	染織	19～23	齋齋展	洋画
20～24	新日美京都支部展	美術総合	19～23	十月の会	書
26～30	大熊峻洋画作品展	洋画	26～30	京の名工展	工芸総合
26～30	西川伍作品展	洋画	26～30	面法会能・狂言面展	諸工芸
26～30	種々展	日本画	26～29	染創作三人展	染織
5.20～24	京都書作家協会会員展	書	11.21～23	壬戌画会水墨画展	日本画
26～30	後藤西香屏風書作展	書	21～23	異風展	染織
26～30	筒々会展	日本画	21～23	絵更紗画林展	染織
26～30	楚戈・李錫奇・白丰中台湾現代絵画代表展	日本画	25～29	創工会展	工芸総合
6.22～26	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	12.21～25	帆の会展	洋画
28～7.2	ジャック・ペルノ 藤波晃展	洋画	21～25	齋龍展	書
28～7.2	日本画四人展	日本画	2001. 1. 5～ 9	山口賛治作品展	洋画
7.14～18	成安造形短期大学専攻科展	総合	18～25	第13回京都美術文化賞受賞記念展	総合
20～24	新美会員展2000	美術総合	27～30	京都現代書芸展	書
26～30	ファインド・アイ展	写真	2.17～20	成安造形短期大学服飾文化学科卒業制作展	工芸総合
8.19～23	大潮会近畿北陸支部美術展覧会	洋画	23～25	京都橘女子大学日本語日本文学科書道コース展	書
19～23	六樹会篆刻作品展	書	3.22～26	あまがつ会人形展	諸工芸
26～30	第12回シポリコミュニティ合同作品展	染織	22～26	面風会能面・狂言面展	諸工芸
9.21～24	面匡会京都能面展	諸工芸	22～26	新象園西春季展	洋画
21～24	藤忍会染色作品展	染織	22～26	汎具象会友と受賞作家展	洋画
21～24	板倉華楊書展	書	28～4.1	大塚亮治の創作面展	諸工芸
21～24	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合	28～4.1	久合田脩作品展	洋画
26～30	平安書道会聚英展	書	28～4.1	小椋会織物展	染織
26～30	白土会洋画作品展	洋画			
27～30	書の会「躍」展	書		計52件（121日間）	46,053人

②作家利用分野別利用状況

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	7	11	10	1	0	2	7	1	6	4	3	52
割合 (%)	13	21	19	2	0	4	13	2	12	8	6	100
入場者数	6,670	6,967	7,452	1,006	0	1,367	5,062	503	7,095	6,140	3,791	46,053
1件平均入場者数	953	633	745	1,006	0	684	633	503	1,183	1,535	1,264	886

(3) 生涯学習的発表の利用

1998年度より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に

準ずる利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

①生涯学習的発表の利用一覧

	会期	展覧会名	分野	入場者数	
5階	2000. 4.12～ 4.16	ふしぎな花倶楽部 押花作品展	諸工芸	876	
	4.14～ 4.18	青梅山人 白浪画展	日本画	418	
	5. 5～ 5. 9	第1回 ブベドール 創作陶磁器人形展	諸工芸	1,520	
	6.14～ 6.18	2000年記念 佳趣会書展	書	538	
	7. 4～ 7.11	第18回 上野の森美術館大賞展関西展	洋画	1,085	
	9. 7～ 9.11	第17回 産経国際書展関西展	書	1,542	
	9.14～ 9.17	京都とっておきの芸術祭	美術総合	1,420	
	10.12～10.15	第10回 虹の会自然を描く展 併催 中藤益子個展	日本画	494	
	10.31～11. 5	第9回 光熱能面書展	諸工芸	982	
	10.31～11. 5	「光峯の織物美術」帰朝展	染織	914	
	10.31～11. 5	塩山強「私的情景」展	日本画	466	
	11. 2～11. 5	有田あや絵更紗回顧展	染織	637	
	12. 7～12.11	キルトハウスあんだんて 第6回パッチワーク・キルト作品展	諸工芸	4,440	
	12.13～12.17	桑泉寺由子キルトスクール作品展	諸工芸	854	
	12.13～12.17	15周年記念 遊子展 併催 小森文雄水墨画展	日本画	1,092	
	2001. 2. 6～ 2.13	京都伝統工芸専門学校 第5回卒業記念作品展	美術総合	1,811	
	3.16～ 3.20	第14回 森小夜子人形教室展	諸工芸	1,613	
	3.16～ 3.20	第18回 桃夭会日本画展	日本画	510	
計 18件 使用日数：67日				21,212人	
6階	2000. 4. 1～ 4. 2	四世竹本綱吉「浄瑠璃に生きる」～満九十五歳の春～	その他	130	
	4.21～ 4.23	第23回 日本染織作家展	染織	505	
	7.31～ 8. 3	(財)片山家能楽保存財団 第四回 能装束・能面展	工芸総合	1,157	
	9. 9～ 9. 9	重陽節会 歌会俳句会・書華展	美術総合	45	
	9.21～ 9.23	第92回 盆石と彩石画展	諸工芸	473	
	10. 6～10. 9	第10回 都々良会作品展	美術総合	354	
	10.30～11. 1	平成12年度 本綴秀作発表会	染織	500	
	11. 2～11. 4	京都末生流いけばな展	華道	764	
	11. 9～11.12	第38回 龍門社選抜書道展	書	993	
	11.14～11.14	体験学習(京舞)	その他	37	
	11.17～11.20	一本罅蠟染一第1回 木村勝美個展	染織	432	
	11.22～11.26	一平家物語を学んで一沙羅書芸教室展	書	1,396	
	12.12～12.12	体験学習(京舞)	その他	153	
	12.15～12.17	第28回 京都シニア大学 学園文化祭	美術総合	709	
	2001. 3.15～ 3.15	体験学習(京舞)	その他	98	
	3.24～ 3.24	体験学習(京舞)	その他	189	
	計 16件 使用日数：43日				7,935人

※ 体験学習の入場者数を含む。

②生涯学習的発表の利用分野別入場者状況

	和装 呉服	美術							工芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	-	5	1	2	-	-	2	10	2	-	6	-	8	-	18
	日数	-	25	8	10	-	-	12	55	10	-	31	-	41	-	96
	人数	-	2,980	1,085	2,080	-	-	3,231	9,376	1,551	-	10,285	-	11,836	-	21,212
6階	件数	-	-	-	2	-	6	3	11	3	-	1	1	5	-	16
	日数	-	-	-	9	-	9	8	26	9	-	3	4	16	-	42
	人数	-	-	-	2,389	-	1,371	1,108	4,868	1,437	-	473	1,157	3,067	-	7,935

※ 6階の美術「その他」には華道(764人)、体験学習(477人)を含む。

(4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会等の他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市等の会場としても利用されている。

	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計	
5階	件数	9	0	8	4	1	22
	日数	27	0	25	15	4	71
6階	件数	16	0	0	0	2	18
	日数	44	0	0	0	5	49

7-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館のホールは、通常は常設展示の一環として公開しており、明治時代の代表的な洋風近代建築の内部が鑑賞できるが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。

特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使うとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

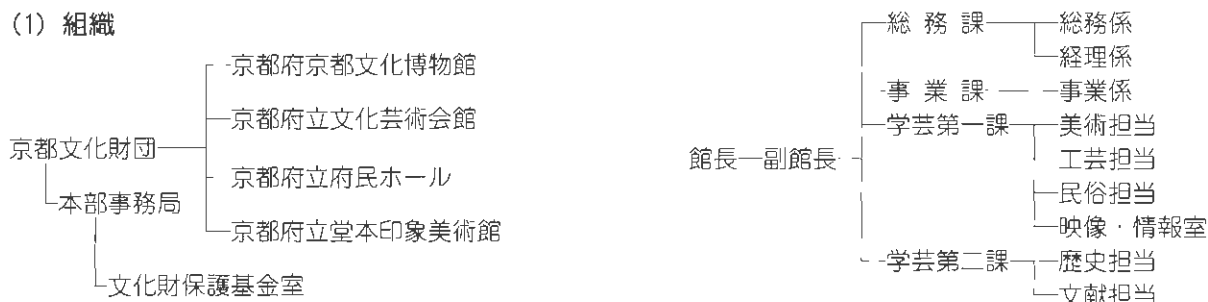
①利用状況

会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
2000.5.21	京都C.モンテヴェルディ合唱団定期演奏会	2000.10.23~26	京都橘女子大学歴史文化セミナー 「天下人ノ時代-16~17世紀の京都」第2部
5.28	ギャルリー正観堂10周年記念 京都府文化賞功労賞受賞者シンポジウム	10.29	京都フィルハーモニー室内合奏団第116回定期公演
6.4	あいのまちはうす2000年夏のコンサート	11.18~19	京の三条町づくり協議会「まちなかを歩く」 -シンポジウム・ダンス教室ほか
6.8	栗崎ヴォーカルスタジオ・ シャントゥール・ブランタン・ミレニウム	11.23	レストラン「インゾルテ」開店1周年記念コンサート クラリネット&ピアノデュエット演奏会
6.18	京フィルアワー(京都チャンネル収録)	11.25	京都シティフィル合唱団 ヘンデル「メサイヤ」のためのセミナー
7.22	サマー・ヴォーカル・コンサート	12.8	川村結花 PIANO MIX in KYOTO
8.26	大木彩乃ライブ(FM京都録音)	12.9	栗崎ヴォーカルスタジオ・ シャントゥール・イヴェール・ミレニウム
8.27	レクチャーコンサート“失”楽園の音楽 ガブリエル・フォーレをめぐって	12.10	ジョイントコンサート
9.2	混声合唱団CADENZA第8回定期演奏会	12.17	京都室内合唱団第5回演奏会クリスマスコンサート
9.3	京都フィルハーモニー室内合奏団第115回定期公演	12.23	LA萌 DIE 2000 クリスマスコンサート
9.9	鴻田侑子ピアノ教室・ピアノミニコンサートの夕	12.24	山下千絵メゾソプラノリサイタル
9.10	加藤ますえ長月コンサート・カンツォーネを歌う	2001.1.21	リーダークライス声楽研究発表会
9.24	京都C.モンテヴェルディ合唱団定期演奏会	3.11	バッハアカデミー関西定期演奏会
10.1	ブラームスホール林望さんの晩餐会	3.24	石原千宝美スペシャルライブ(FM京都録音)
10.2~5	京都橘女子大学歴史文化セミナー 「天下人ノ時代-16~17世紀の京都」第1部	3.25	文字佳子ピアノ教室ピアノコンサート
10.8	「失われしものたちへ」 大島優美子・岡崎悦子リサイタル		計31件 入場者数 計 6,661人

8. 管理・運営

8-1 組織と職員

(1) 組織



※総務課は京都文化財団本部事務局を兼ねる。

(2) 京都文化財団役員

職名	氏名	所 属 等	註	職名	氏名	所 属 等	註
顧問	芦原 義重	関西電力株式会社名誉会長		理事	芝田 米三	洋画家	
	荒巻 禎一	京都府知事			菅 泰男	京都大学名誉教授	
	林田悠紀夫	前京都府知事			多田道太郎	京都大学名誉教授	
理事長	岡本 道雄	京都大学名誉教授、京都文化博物館長			谷内 乾岳	神護寺住職	
副理事長	千 宗室	茶道家元			角田 文衛	叡古代学協会理事長	
	草木 慶治	京都府副知事			堂本 元次	日本画家	
常務理事	高見 静治	京都文化博物館副館長			西村 恭子	美術プロデューサー	*
理事	稲盛 和夫	京都商工会議所名誉会長			藤田 哲也	京都府教育委員会委員長	*
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授			真弓 常忠	八坂神社宮司	
	岡田 節人	J T生命誌研究館長	*		村井 康彦	滋賀県立大学教授	
	門脇 禎二	京都橘女子大学学長			山本 壯太	NHK京都放送局長	*
	清水九兵衛	彫刻家・陶芸家		監事	岡田 博邦	旧京都銀行協会専務理事	
	小畑 弘	京都府社会教育委員連絡協議会会長			小林 真一	京都府出納管理局長	
	坂上 守男	(社)京都府観光連盟会長・(社)京都市観光協会会長					

※ *印：2000年4月1日就任

(3) 京都文化博物館職員

2001年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長	岡本 道雄	館総括	財団理事長兼務
	副館長	高見 静治	館業務総括	財団常務理事・事務局長兼務
総務課	課長	吉田五十春	課総括	財団本部事務局兼務 ～2001.3
	参事・総務係長事務取扱	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	生島 宏次	経理係	財団本部事務局兼務
	主任	森木 礼子	経理係	財団本部事務局兼務
	主事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	嘱託	中越 活朗	総務係	
	参事	新井 協一	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室／～2001.3
	室長	伊藤 顯	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室
	嘱託	苅谷 恭平	友の会・別館	非常勤／～2000.8
	友の会嘱託	中井 三郎	友の会・別館	非常勤／2000.9～
事業課	課長	新井田郁雄	課総括	
	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係	～2001.3

	主事 主事 主事 嘱託	磯野真知子 森 雅樹 海老名和孝 門脇 郁男	事業係 事業係 事業係 事業係	
学芸第一課	課長（主任学芸員） 映像情報室長 主査・学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 嘱託 嘱託	石沢 誠司 内村 悦郎 大西 基子 大塚 活美 藤本 恵子 長舟 洋司 洲鎌佐智子 森脇 清隆 野口 剛 溝口 勝美 有田 幸男	課総括 映像・情報担当 美術担当 民俗担当 工芸担当 美術担当 工芸担当 映像・情報担当 美術担当 映像 映像	非常勤 ~2001.3 2000.4~ 学芸第二課兼務 2000.4~ 非常勤 非常勤
学芸第二課	課長（主任学芸員） 主幹（主任学芸員） 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 学芸員	片岡 肇 鈴木 忠司 植山 茂 山下 秀樹 定森 秀夫 南 博史 土橋 誠	課総括 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史・文献担当	

(4) 職員表彰等

①京都文化財団永年勤続表彰（10月3日表彰）

藤岡研二郎（事業課主幹兼事業係長事務取扱）
定森 秀夫（学芸第二課主任学芸員）
森木 礼子（総務課主任）

②京都市内博物館施設連絡協議会永年勤続表彰

（6月27日表彰）

石沢 誠司（学芸第一課長・主任学芸員）
大西 基子（学芸第一課主査・学芸員）

8-2 施設

(1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡（別館を含む）

建築面積：3,481.04㎡（別館を含む）

延床面積：15,827.42㎡（別館を含む）

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡／1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡／3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡／5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡／7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

(2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903（明治36）年9月

～1906（明治39）年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積—819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指定：重要文化財

指定名称—旧日本銀行京都支店

指定年月日—1969年3月12日

指定書番号—建第1,708号

8-3 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は当館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものであり、高倉通側には京料理などの飲食店、内側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は、当館の協力会として、開館記念日をはじめとする当館の催しに合わせて、積極的に多彩な催しを開催している。本年度のろうじ店舗の利用者は172,444人であった。

①ろうじ店舗一覧

◇紙の店—楽紙館

◇京しゅみ—菰軒

◇京のエッセンス19舗 名店会（順不同）

薫香—松栄堂	京の雅—古澤仙壽堂
京麩—半兵衛麩	京小間物—光悦
数珠—福永念珠堂	京栗葉匠—若菜屋
京菓子—鼓月	風雅便箋—表現社
京佃煮—野村	化粧小物—左り馬
宇治茶—福寿園	縮緬小物—くろちく
京扇子—とくの	京つけもの—西利
京象嵌—川人象嵌	京・清水焼—朝日堂
竹の匠—高野竹工	なま八つ橋—井筒八ツ橋
京菓子—甘春堂本舗	

◇もち料理—きた村

◇手打そば・蕎麦料理—有喜屋

◇甘党茶寮—あけぼの

◇エスプレッソコーヒーの店—コロラド

◇織屋直販店 ショップ西陣（順不同）

風呂敷—上羽機業 絹のれん—渡文

バグー—小森織物 マフラー—塩野屋

シャツ—すぎむら ネクタイ—段下二郎

小物入れ—辻梅 綴れグッズ—本つづれ勝山

テーブルクロス—瀬川工芸織物

◇珈琲サロン（別館）—阿蘭陀館

◇ミュージアムショップ（3階）—便利堂

②博和会行事

2000年	4月21日～23日	ろうじの古本市
	5月13日～15日	ろうじの呉美の市
	6月20日～7月10日	七夕（七夕飾り）
	9月8日～10日	ろうじの呉美の市
	9月9日～10月6日	重陽（菊飾り）
	11月17日～19日	ろうじの呉美の市
	11月24日～26日	ろうじの古本市
	12月20日～2001年1月17日	正月（凧飾り）
	3月16日～18日	ろうじの呉美の市



2000年6月
ろうじ店舗「京の五節句」七夕飾り
（説明を聞く高倉小学校6年生の一行）

9. 2000年度のあゆみ

※ 事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の省略

月 日	事 項	月 日	事 項
4. 1	人事異動		17)
4. 6	音楽会<近代から現代へのフランス音楽の輝き>第4夜 (AH)	10. 1	「京の匠展」関連イベント「檜皮葺き実演」(4階/10.8)
4. 8	美術・工芸常設展示「池大雅展」ギャラリートーク(佐々木氏/3階)	10. 3	京都文化財団職員表彰(永年勤続一藤岡・定森・森木)
◇	生涯学習ボランティア「MOKの会」2000年度総会	10. 7	「京の匠展」関連イベント「瓦葺き実演」(4階/10.14)
4.13	ロータリークラブ研修で米国へ(磯野、~5.26)	◇	「朽木村針畑地域生活記録映画特集」講演会(丸谷氏/MH)
4.21	「季節を祝う一京の五節句」展開催(4階、~5.21)	10.15	「京の匠展」関連イベント「檜皮屋根棟瓦付け実演」(4階)
◇	ろうじ店舗博和会「古本市」(~4.23)		展示室運営委員会
4.28	修学旅行夜の体験学習「けまり」(AH)	10.19	「京の匠展」列品解説(植山/4階)
4.29	「京の五節句」展列品解説(古郷)	10.21	「京の匠展」関連イベント「西本願寺屋根修復工事現場見学会」(西本願寺)
◇	「映画監督・内田吐夢」特集講演会(内田氏MH)	10.22	「京の匠展」列品解説(山下/4階)
4.30	KBSかたつむり大作戦に協力	10.28	「京の匠展」関連イベント「西本願寺屋根修復工事現場見学会」(西本願寺)
5. 6	「京の五節句」展列品解説(洲鎌)	10.31	音楽会<ヴィルトゥオーソの誕生・その1ーヴァイオリン編>第1夜(AH)
5.13	「京の五節句」展 講演会(石沢/AL)	11. 2	八大都道府県商工部長会議一行・国際特別都市議会議長協議会一行視察来館
◇	ろうじ店舗博和会「呉美の市」(~5.15)	11.11	生涯学習ボランティア「MOKの会」見学研修会(銀閣寺・伏見稲荷大社)
5.14	「京の五節句」展 記念イベント「七夕さん(紙衣)をつくろう」開催	11.14	フランス・リヨン訪日団視察来館
5.15	雲林院跡埋蔵文化財発掘調査(~9.28)	◇	修学旅行夜の体験学習「まいこ」(6階)
5.24	関西ミュージアムメッセ2000参加(大阪国際会議場、~5.27)	11.17	「没後170年記念展一良寛さん」開催(4階/~12.17)
5.26	修学旅行夜の体験学習「けまり」(AH)	◇	陝西歴史博物館友好交流研修員来日(~12.2)
5.28	京都府文化功労賞受賞者シンポジウム(AH)	◇	ろうじ店舗博和会「呉美の市」(~11.19)
6. 7	オクラホマ州農業青年等訪問団来館	11.18	三条アートフェスティバル協賛・別館無料公開
6.10	生涯学習ボランティア「MOKの会」6月例会	11.21	博物館友の会見学会(福王子神社本殿・拜殿修理現場)
6.16	「近代日本画に見る美人画名作展」(4階/~7.17)	11.24	ろうじ店舗博和会「古本市」(~11.26)
6.22	展示室運営委員会	12.12	修学旅行生「京舞鑑賞」(6階)
6.23	音楽会<近代から現代へのフランス音楽の輝き>第5夜(AH)	12.18	音楽会<ヴィルトゥオーソの誕生・その1ーヴァイオリン編>第2夜(AH)
6.27	京都市内博物館施設連絡協議会表彰(永年勤続一石沢・大西)	12.20	消防訓練
7. 5	第18回上野の森美術館大賞展・関西展(5階/~7.11)	2001. 1. 4	「京都府美術工芸新鋭選抜展~2001新しい波~」開催(4階/~1.21)
7.10	第30回京都文化財団役員会(京都府公館)	1.20	生涯学習ボランティア「MOKの会」1月例会
7.15	<祇園祭の宵山に箏曲を聞く夕べ>開催(AH/~7.16)	1.26	生涯学習ボランティア第3回学習ひろば(京都市立植物園)
7.17	臨時開館(祇園祭山鉾巡行日)	2. 3	「風景にたたずむ画家一都鳥英喜」展開催(4階/~3.4)
◇	博物館実習第1組(~7.21)	2.16	音楽会<ヴィルトゥオーソの誕生・その1ーヴァイオリン編>第3夜(AH)
7.24	ロータリー米国研修報告会(磯野/7階サロン)	2.23	映像運営委員会
8. 5	「聖地・日光の至宝展」開催(4階・3階/~9.17)	2.28	エルサルバドル海外学術調査協力(南/~3.18)
◇	「宮川一夫特集」座談会(MH)	3. 1	展示室運営委員会
8. 8	修学旅行夜の体験学習「歴史講座」(AH)	3. 8	京都市内博物館施設連絡協議会「ふれあいボランティア講座」(AE)
8.22	博物館実習第2組(~8.25)	3.10	生涯学習ボランティア「MOKの会」3月例会
8.24	音楽会<近代から現代へのフランス音楽の輝き>第6夜(AH)	3.15	「最後の天才浮世絵師一月岡芳年」展開催(4階/~4.15)
9. 1	主要都道府県文化行政主管課長会議一行視察来館	◇	修学旅行生「京舞鑑賞」(6階)
9. 2	生涯学習ボランティア「MOKの会」9月例会	3.16	ろうじ店舗博和会「呉美の市」(~3.18)
9. 8	ろうじ店舗博和会「呉美の市」(~9.10)	3.24	修学旅行生「京舞鑑賞」(AH)
9.16	「映画にみる京」講演会(坂本氏/MH)	3.26	第30回京都文化財団役員会(京都府公館)
◇	雲林院跡発掘調査現地説明会	3.31	研究紀要『朱雀』第13集刊行
9.18	修学旅行夜の体験学習「歴史講座」(AH)	◇	『1998・1999年度年報』刊行
9.30	「京の匠展」開催(4階/~11.5)		
◇	「京の匠展」関連イベント「新始め鑑賞」(AH)		
◇	エルサルバドル海外学術調査協力(南/~10.		

京都文化博物館2000年度年報

発行日 2002年3月31日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL 075-222-0888
FAX 075-222-0889
印刷 (株)燈影舎

